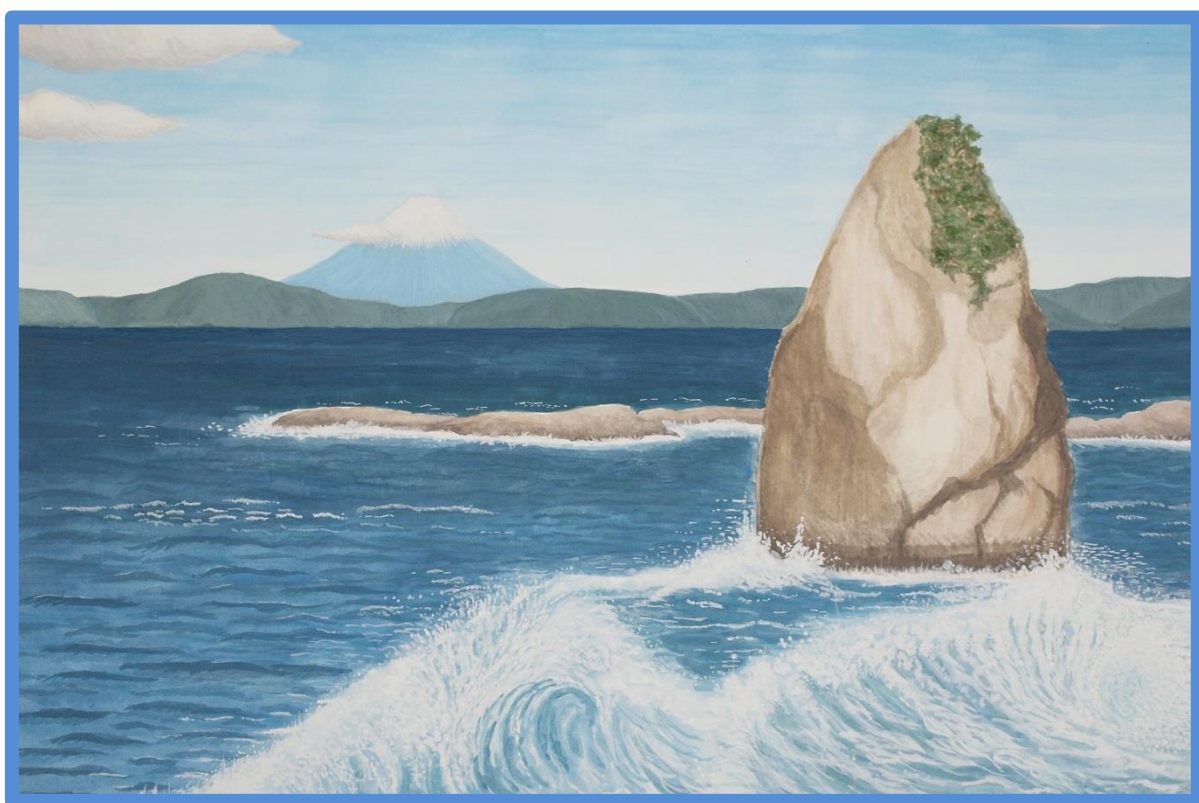


# 横須賀港港湾環境計画

平成 28 年度年次報告書（平成 29 年度版）



横須賀市立長沢中学校 3 年 草留 稜太さんの作品  
関東海事広報協会横須賀支部 主催  
平成 29 年度 海の絵画コンクール 横須賀市長賞

横須賀市



## 目 次

<b>第1章 横須賀港港湾環境計画の概要</b> .....	1
1-1 計画の目的 .....	1
1-2 計画の位置付け.....	1
1-3 計画の考え方（基本構想）.....	2
1-4 基本理念と基本方針	
(1) 基本理念：市民との協働による「エコタウンポート」の形成.....	2
(2) 基本方針 .....	2
(3) 3つのエリアの設定.....	3
1-5 5つの「基本目標」と16の「推進施策」.....	5
(1) 基本目標 .....	6
(2) 推進施策 .....	7
1-6 3つの「重点施策」.....	11
1-7 計画の進行管理.....	12
<b>第2章 施策の進捗状況</b> .....	13
2-1 平成28年度の主な施策・取り組み.....	14
2-2 5つの「基本方針／基本目標」の進捗状況	
(1) 市民協働による推進／多様な主体（市民、市民活動団体、学校等） との協働による取り組みを進めます.....	15
(2) 利用と環境の調和／市民等が海を身近に感じ、海に親しめる機会 を創出します.....	15
(3) 快適な生活環境の形成／市民が安心して暮らせるまち、市民が憩 える水辺空間を創出します.....	15
(4) 海の環境再生／水質・底質及び生物多様性・生態系の補選・再生 を進めます.....	16
(5) 活力あるまちの創造／横須賀の資源（景観・歴史、ブランドなど） を活かした海の魅力の発信を進めます.....	16
2-3 16の「推進施策」の進捗状況	
(1) 地域や学校の中で海に親しめる場をつくろう.....	17
(2) 海に関するネットワークづくりを進めよう.....	23
(3) 横須賀港の自然環境を学び、海に触れてみよう.....	25
(4) 海や港湾に携わる人々の仕事や役割を知ろう.....	29
(5) 魅力あるイベントを開催し、人々の交流を推進しよう.....	29
(6) 海のレジャーやレクリエーションの場をつくろう.....	33
(7) 市民の憩いの場となる親水性の高い水辺空間をつくろう.....	35
(8) 東京湾を一望できる、潮風を感じる砂浜をまもろう.....	35
(9) 海とともに安全・安心に暮らそう.....	35
(10) 海辺や海上の美化を推進し、海に対するマナーの向上を図ろう.....	37
(11) 海のゆりかご アマモ場をはぐくもう.....	39
(12) 良好な自然環境を子どもたちに引き継ごう.....	41
(13) 横須賀港の景観、歴史、遺産に触れよう（学ぼう）.....	45
(14) 海上アクセスによる交流を促進しよう.....	47
(15) 東京湾の海の恵みを地産地消に活かしていこう.....	47
(16) 海を活かした産業を活性化しよう.....	49
2-4 重点施策の進捗状況	
重点施策1 .....	51
重点施策2 .....	51
重点施策3 .....	52

# 第1章 横須賀港港湾環境計画の概要

## 1-1 計画の目的

横須賀港は観音崎や猿島をはじめとする海岸や緑に恵まれ、親水性の高い水辺空間があり、港湾の発展と自然との共存が可能な臨海部空間を有しています。

また、米海軍や海上自衛隊の施設などが立地する特有の景観を持つとともに、浦賀、猿島、観音崎などの自然・歴史的資源、ヴェルニー公園や三笠公園などの憩いや散策の場などさまざまな利用がされています。

本市では、こうした大切な財産である海の魅力を一層向上させるとともに、貴重な自然を未来に引き継ぎ、東京湾の環境再生に寄与するために、横須賀港沿岸域の環境のあり方と今後推進すべき施策や取り組みの方向を示した本計画を平成17年3月に策定しました。

## 1-2 計画の位置付け

本計画は、環境基本条例第9条に基づき策定した本市の環境行政のマスタープランである「横須賀市環境基本計画（2011～2021）」及び港湾法第3条の3第1項に基づき策定した「横須賀港港湾計画」の下位計画として位置付けています。（図1）

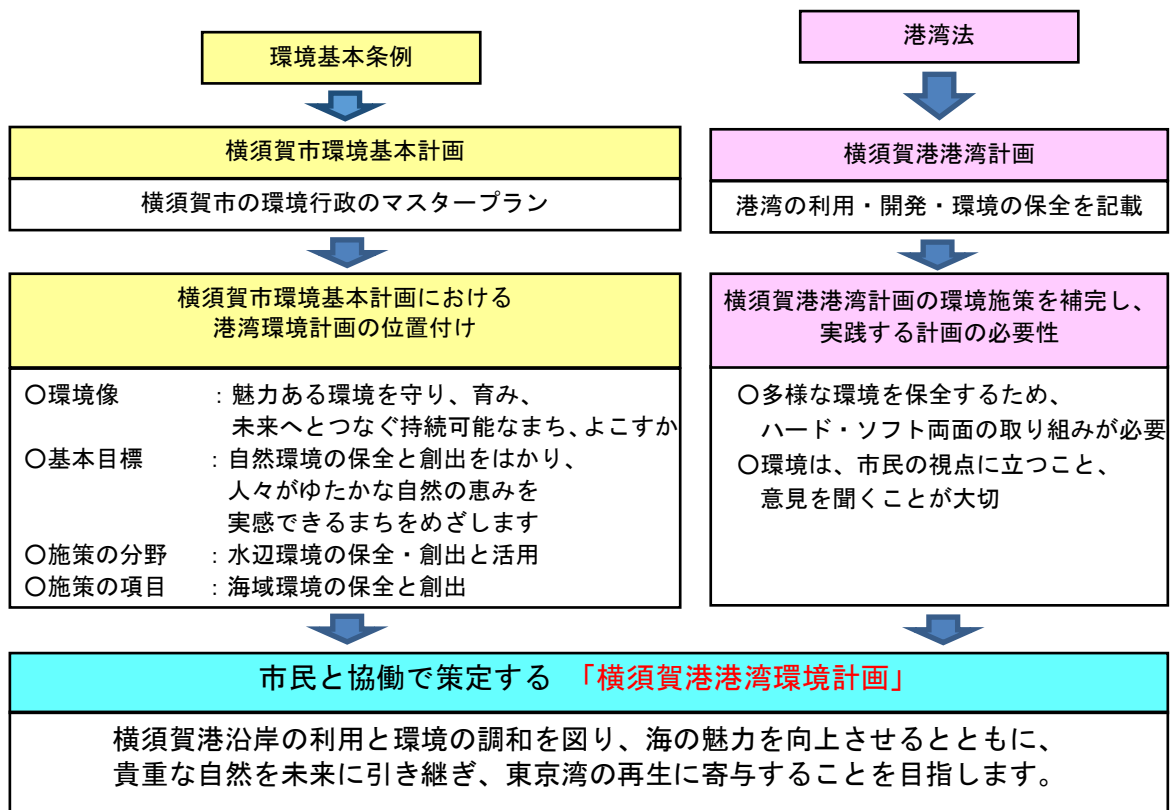


図1 横須賀港港湾環境計画の位置付け

### 1-3 計画の考え方（基本構想）

この計画では、横須賀港の具体的な環境施策の基本となる「市民との協働による“エコタウンポート”の形成」を基本理念とし、横須賀港とその周辺の環境特性と本計画が目指す沿岸環境のあるべき姿から「基本理念」や「基本方針」を設定し、実践することで港湾環境の保全・再生を図っていきます。

### 1-4 基本理念と基本方針

#### （1）基本理念：市民との協働による「エコタウンポート」の形成

横須賀港は、港、海、自然、文化、歴史の面で、独特で多様な環境を有していることから、これらを活かして、港及び都市と環境が調和した横須賀特有の沿岸域を形成するため、市民と行政が協働で「再生・活生・共生」に取り組み、人々がこれを楽しめるとともに、まちづくりに貢献する“みなと”（エコタウンポート）を目指します。

#### （2）基本方針

##### ①市民協働による推進

エコタウンポート形成に向け、市民と行政が協働して進めることのできる体制づくりや情報ネットワークの形成を図るとともに、協働による港湾環境施策の検討、実施、運営等を実現します。

##### ②利用と環境の調和

横須賀港臨海部は、物流や産業の場、市街地として利用されるとともに、防衛施設などが立地し、また、海域は船舶航行、漁業、レクリエーションなどの利用がなされる中で、こうした利用と横須賀港の多様な環境特性との調和のとれた両立が求められています。横須賀港の利用に際しては、良好な環境に向けて環境保全等への配慮を行うとともに、横須賀港の豊かな環境を活かしながら、市民の海への意識や理解の向上に資するよう、海に親しめる機会の創出を図ります。

##### ③快適な生活環境の形成

人々が海を眺め、近づき、ふれあうことができるよう水辺空間の開放を進めるとともに、緑による都市温熱環境の緩和や適正な沿岸管理等により環境負荷を減じ、快適で暮らしやすい環境を形成します。

##### ④海の環境再生

自然の海岸線や植物帯など東京湾に残された貴重な自然環境を保全するとともに、生物生息に適した環境を修復することで、海が本来持つ浄化機能や生物を育む機能の向上を図り、海域環境の再生を図ります。

### ⑤活力あるまちの創造

本市の持つ港、海、自然、文化、歴史等を資源とし、これらの保全・再生を進めつつ積極的に活用し、人々が交流する活力あるまちを創造します。

また、エコタウンポートの実現に向けては、これらの資源をブランドとして高め、これを港湾環境施策に役立てるなど、環境の再生・活生・共生に寄与する仕組みを検討します。

#### ※語句の定義

市民：協働の対象としての市民は、個人としての市民はもとより、関連する主体として、事業者、漁業者等海域の利用者、市民団体、NPO等を包括する。

人々：市内に居住する人、市内で働く人及び来訪者など、ある環境に関わるすべての人。

ブランド (brand)：商標、銘柄、(心に) 強く刻みつける、語源的には「焼印」から派生した語（横須賀のブランドとしては、海軍、開国の地、東京湾に残された自然、カレーなどさまざまなものが考えられる）。

### (3) 3つのエリアの設定

横須賀港は13の地区に分かれていて、環境には地域的な違いがあります。地域の環境や特性に合わせて、横須賀港を「再生」、「活生」、「共生」の3つのエリアに区分し、それぞれのエリアの環境特性を活かした「基本方針」を設定した上で、さまざまな施策を推進していくこととしています。(図2)

「横須賀港」は次の13の地区で構成されています。

- |         |          |         |        |         |
|---------|----------|---------|--------|---------|
| 1 追浜地区  | 2 深浦地区   | 3 長浦地区  | 4 本港地区 | 5 新港地区  |
| 6 平成地区  | 7 大津地区   | 8 馬堀地区  | 9 走水地区 | 10 鴨居地区 |
| 11 浦賀地区 | 12 久里浜地区 | 13 野比地区 |        |         |

※本計画では、横須賀港の港湾区域外も共生のエリアに含めているため、「野比地区」を、「野比から津久井浜周辺」としています。

#### ①再生のエリア（追浜地区～新港地区）

人々が利用できる開放された水際線が少なく、横須賀港の中でも水質・底質が良好とは言えない海域であることから、企業、防衛施設等との調整を行い、水辺空間の開放を図るとともに、開放可能な水際線における近自然的な施設の整備等を進め、自浄機能や生物生息環境の向上を図り、もって市民の海に対する関心を高めつつ、エリア内の環境の再生を進めます。

#### ②活生のエリア（新港地区～走水地区）

中心市街を背後に控え、新港から走水に至る広く開放された水際線を持つ特色を活かし、近自然的な施設の整備等による海域環境の修復を図るとともに、猿島、走水等を中心とした現存の海岸、植生、藻場等の維持・修復、歴史資産の保存を進め

ることで、浄化、生物生息、親水、交流、景観、レクリエーション等という環境における総合的な要請に応え、海に親しむ活動（環境学習、平和教育、水遊び、散策等）の場として積極的に活用します。

③ 共生のエリア（走水地区～野比から津久井浜周辺）

東京湾口部に含まれ、横須賀港の中で比較的良好な水質が保たれた走水周辺、観音崎周辺、燈明堂周辺、海瀬島<sup>あしか</sup>周辺、野比から津久井浜に至る海岸と藻場が残る環境と、港湾等の利用との調和を図りつつ、積極的に保全するとともに、自然を体感（自然観察、環境学習、海洋性レクリエーション等）する場として活用します。また、浦賀、久里浜では歴史遺産の保存を図りつつ、諸環境の復元・修復を進め、エリア全体の環境保全とその活用を図ります。

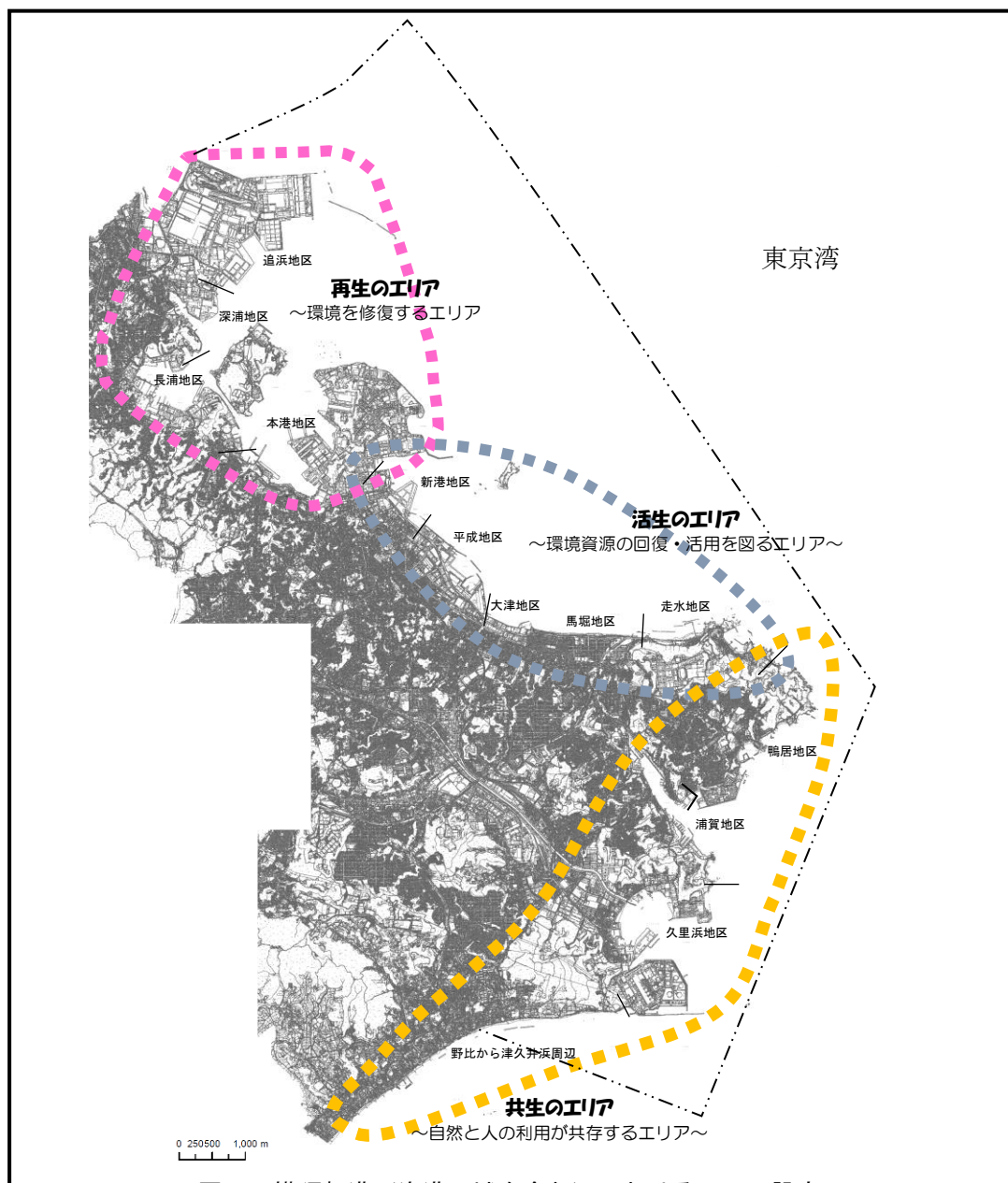


図2 横須賀港（漁港区域を含む）におけるエリア設定

## 1-5 5つの「基本目標」と16の「推進施策」

これまでの計画は、17の「先導的取り組み」及び6つの「行動計画」を中心に取り組みを進めてきましたが、全体像を把握しにくい計画体系で、また、各地区特有の取り組みとしているため、他の地区での取り組みや地区を跨いだ取り組みを適切に評価することが難しいという課題がありました。このため、計画体系の考え方を「下からの抽出」から「上からの落とし込み」へと変更し、5つの「基本目標」と16の「推進施策」へと変更し、再構成しました。

「基本構想」を実現させるため、「基本理念」や「基本方針」に基づいた施策や取り組みを「行動計画」として位置付け、進めるに当たっては、「できることを、できることから、継続して」を基本的な考え方としています。

この基本的な考え方を踏まえた上で、行動計画に位置付けた施策や取り組みの進むべき方向性を示し、この目標の達成に向けた個々の施策や取り組みを示すことにより、本計画全体を推進していく必要もあります。

こうしたことから、13の地区ごとの地域特性を踏まえ、横須賀港全体での取り組みを推進するための「基本目標」を設定しています。

また、本計画全体の「基本方針」及び行動計画における「基本目標」に基づき、目標の達成に向けて推進していくべき施策や取り組みを「推進施策」として位置付けています。

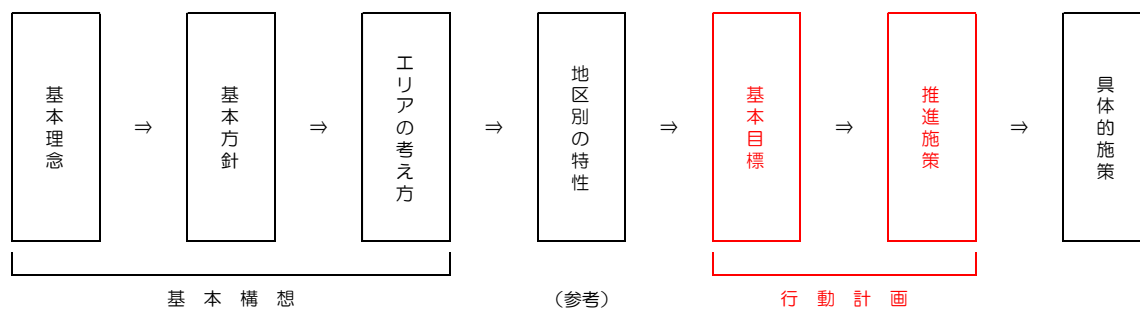


図3 計画の体系図



## (1) 基本目標

### **i 多様な主体（市民、市民活動団体、学校等）との協働による取り組みを進めます**

【対応する基本方針：Ⅰ 市民協働による推進】

海、沿岸域、港に対する関心を高めるため、行政だけではなく、市民、市民団体、地域、学校など多様な主体と連携・協力するとともに、持続した活動ができるよう、協働あるいは役割分担をして取り組みを進めます。

### **ii 市民等が海を身近に感じ、海に親しめる機会を創出します**

【対応する基本方針：Ⅱ 利用と環境の調和】

さまざまな可能性を持つ海の資源を人々の豊かな暮らしに活かしていくためには、市民が海を身近なものとして感じ、海についての理解を深める必要があるため、海を知り海とふれあう機会を創出します。

### **iii 市民が安心して暮らせるまち、市民が憩える水辺空間を創出します**

【対応する基本方針：Ⅲ 快適な生活環境の形成】

平成 23 年 3 月の東日本大震災の甚大な津波被害は、人々に自然の脅威を実感させる結果となりました。しかしながら、海は私たちに豊かな暮らしや憩いをもたらすものであることから、市民が安心して暮らすことができるよう、適切なハード整備を進め、それに併せて、市民が憩える水辺空間も創出します。

### **iv 水質・底質及び生物多様性・生態系の保全・再生を進めます**

【対応する基本方針：Ⅳ 海の環境再生】

東京湾口部に位置する横須賀港は、水質・底質について比較的良好な状態であるものの、横須賀港には埋立地が多く、直立の護岸が中心となっていることから、浅場や干潟などの多様な生物が生育可能な環境が不足している状況にあります。

こうしたことから、沿岸構造の改善や浅海域の再生を図ることにより、生物多様性や生態系の保全を進め、海域環境のさらなる改善を図ります。

### **v 横須賀の資源（景観・歴史・ブランドなど）を活かした海の魅力の発信を進めます**

【対応する基本方針：Ⅴ 活力あるまちの創造】

三方を海に囲まれた横須賀は、歴史的にも海とともに発展してきた都市であり、こうした軍港としての歴史を持つことや東京湾口部に位置する自然豊かな海の景観は本市の特徴です。

こうした海に係わる歴史や景観、そこから生まれるブランドを活かし、海の魅力を発信していきます。

## (2) 推進施策

### ■基本方針Ⅰ 市民協働による推進

基本目標ⅰ 多様な主体（市民、市民活動団体、学校等）との協働による取り組みを進めます

#### 推進施策①

##### 地域や学校の中で海に親しめる場をつくろう

市民協働によりエコタウンポートの形成を図る上では、子どもたちを中心とした市民に海を身近に感じてもらうことが大切です。そこで、NPO法人、事業者（漁業協同組合等）を含めた地域や学校と連携しながら、市民に身近なところに海に親しむことができる場を創出し、海とふれあう機会を設けます。

この推進施策を進めるに当たっては、行政が市民活動を支援する方法と行政と市民が一緒に取り組む方法の2つの方法が考えられ、それぞれの状況に適した手法を取ります。

#### 推進施策②

##### 海に関するネットワークづくりを進めよう

海に関する活動を行う市民団体や地域団体などの多様な主体が互いの活動を知り、連携を図る機会を設けるため、海に関するネットワークづくりを推進します。

### ■基本方針Ⅱ 利用と環境の調和

基本目標ⅱ 市民等が海を身近に感じ、海に親しめる機会を創出します

#### 推進施策③

##### 横須賀港の自然環境を学び、海に触れてみよう

横須賀港には豊かな自然が残され、さまざまな形でその環境を学び、海とふれあうことができます。こうした環境を活かし、海とふれあうとともに、横須賀港の自然環境について学習する機会を創出し、港湾における自然環境に対する意識の向上を図ります。

#### 推進施策④

##### 海や港湾に携わる人々の仕事や役割を知ろう

港湾にはさまざまな仕事があり、多くの人々が従事していますが、その多くは日常生活の中ではあまり知られていないのが現状です。特に本市には全国でも稀有な海洋に関する研究施設が複数立地しているほか、製造業、物流業、海運業などの多様な企業も立地し、一方では漁業も盛んに行われています。

こうした企業等でどのようなことが行われているかを紹介することで、生活に密着した大切な仕事である港湾に関わる仕事を市民に理解してもらうための施策を進めます。

### 推進施策⑤ 魅力あるイベントを開催し、人々の交流を推進しよう

港は市民にとっての憩いの空間となる場所であり、そこで行うイベントは、さまざまな社会的属性の人たちが交流する場となります。魅力的なイベントを数多く行うことで、人々の交流を促進し、街の賑わいづくりに貢献します。

### 推進施策⑥ 海のレジャーやレクリエーションの場をつくろう

海の持つさまざまな側面の1つに、レジャーやレクリエーションなどの余暇活動の場という面があります。横須賀港の水際線は企業や防衛施設が占める部分が多いものの、一方では自然海岸や公園など、人々が憩いの場として海に親しむことができる場所もあることから、こうした場所を活かした余暇活動の仕組みづくりを積極的に行います。

#### ■基本方針Ⅲ 快適な生活環境の形成

基本目標Ⅲ 市民が安心して暮らせるまち、市民が憩える水辺空間を創出します

### 推進施策⑦ 市民の憩いの場となる親水性の高い水辺空間をつくろう

身近に海とふれあえる環境があることは、生活に潤いをもたらします。横須賀港の水際線は企業や防衛施設の占める部分が多く、パブリックアクセスの改善が必要です。関係機関との連携や調整を図り、市民の憩いの場となる親水性の高い水辺空間の充実を図ります。

### 推進施策⑧ 東京湾を一望できる、潮風を感じる砂浜をまもろう

横須賀市から三浦市にかけては連続した広大な水辺空間が形成され、東京湾を歩きかう船舶を見ることができ、潮風を感じることができる場所となっていますが、近年は海岸侵食が見られることから、侵食対策を進め砂浜を守ります。

### 推進施策⑨ 海とともに安全・安心に暮らそう

平成23年(2011年)3月の東日本大震災の甚大な津波被害は、人々に自然の脅威を実感させる結果をもたらしました。津波や高潮からの被害を防ぐための対策を推進することで、人々の生活に安全をもたらし、安心して暮らせる街づくりを進めます。

■基本方針Ⅳ 海的环境再生

基本目標ⅳ 水質・底質及び生物多様性・生態系の保全・再生を進めます

**推進施策⑩**

**海辺や海上の美化を推進し、海に対するマナーの向上を図ろう**

海辺や海上が美しく保たれることは、人々に海の素晴らしさを伝える原動力となり、ひいてはそのような海を守る気持ちに繋がり、海に対するマナーが向上するという好循環をもたらすことから、さまざまな場所で、さまざまな主体により、海辺や海上の清掃活動等を推進します。

**推進施策⑪**

**海のゆりかご アマモ場をはぐくもう**

稚魚や幼魚にとって隠れ場となるアマモ場を保全することで、周辺の海域における生物の多様性が高まり、より質の高い環境へ移行することが期待できることから、アマモ場や砂浜などの自然環境の保全を図ります。

**推進施策⑫**

**良好な自然環境を子どもたちに引き継ごう**

横須賀港の自然環境を後世に引き継ぎ、良好な自然環境を市民が体験できるようにするため、本市に残された貴重な自然環境を保全・継承するための取り組みを進めます。

■基本方針Ⅴ 活力あるまちの創造

基本目標ⅳ 横須賀の資源（景観・歴史、ブランドなど）を活かした海の魅力の発信を進めます

**推進施策⑬**

**横須賀港の景観、歴史、遺産に触れよう（学ぼう）**

横須賀は横須賀製鉄所（造船所）の開設以来、海とともに発展してきた街です。横須賀港にはその歴史の中で発達してきた独自の景観、遺産が数多く残っています。これらを活用した取り組みを進めることにより、活力あるまちづくりを進めます。

**推進施策⑭**

**海上アクセスによる交流を促進しよう**

本市は三方を海に囲まれていることから、港を活用した海上アクセスのルートの整備を進め、交流人口の増加による街の活性化を進めます。

### **推進施策⑮**

#### **東京湾の海の恵みを地産地消に活かしていこう**

東京湾で獲れる新鮮な魚介類は江戸前と呼ばれ、1つのブランドになっています。横須賀港でも多くの魚介類が水揚げされていることから、こうした地場の魚介類を広く市民に知ってもらい、「食」という誰にでも親しみやすい分野から海についての理解を深めます。

### **推進施策⑯**

#### **海を活かした産業を活性化しよう**

横須賀港には13の地区があり、それぞれ異なる特徴があります。その中で新港地区や久里浜地区には大型の貨物船が着岸できる岸壁が整備されていることから、物流を中心に、観光も含めた産業の活性化を推進します。

## 1-6 3つの「重点施策」

### (1) 重点施策設定の趣旨

行動計画における「推進施策」では、具体的施策や取り組みを位置付けていますが、行政計画としての具体性を持ち、また、行動計画における各基本目標、各推進施策を横断的に牽引し、今後、本計画全体の施策推進の底上げとなるようなシンボリックな施策を「重点施策」として位置付け、計画全体の推進を図ります

### (2) 重点施策

#### ■重点施策1

市民、市民団体、地域、学校などとの協働、あるいは、役割分担により事業を推進します。

市民が海に親しむ機会を創出するために、行政だけではなく多様な主体が連携・協力することで、相乗的、副次的な効果も期待できることから、協働により将来を担う子どもたちを中心とした市民に対する海への理解の促進・海での体験の機会の創出を図ります。

#### ■重点施策2

人々が海に親しめるよう、浅海域の再生を進めます。

横須賀の大きな環境資源である海は市民にとって大切な財産であり、海に直接触れ合える場を創出することは、市民が海への理解を深め、より一層親しみを感じることに繋がります。こうしたことから、横須賀港において浅海域の整備を進めるとともに、市民、市民団体、関係事業者や行政機関と協働しながら、整備後の利活用や管理を行っていきます。

#### ■重点施策3

港湾区域を中心とした地域の活性化に繋がる港湾整備を進めます。

港湾機能として物流や人流を促進することに加え、観光による交流人口の増加に資するよう、港を中心とした地域の活性化を進めます。市民が地域、学校などで、海を利活用した学習会・講習会などを実施する際に、専門的知識や経験を有したガイドを利用できる仕組みづくりを検討します。

## 1-7 計画の進行管理

本計画の施策や取り組みの進捗状況、目標・指標の達成状況などを把握するため、庁内関係部局の事業実施状況の調査を行うとともに、庁内の関係課長で構成する「港湾等に係る計画推進検討会議」において情報共有を図り、必要に応じた検討を進め、その結果については、毎年度、年次報告書を作成し、市民や関係機関等に対して配付・公表を行います。

## 第2章 施策の進捗状況

この章では、計画に基づき、平成28年度に実施した施策や取り組みを中心として、5つの「基本方針／基本目標」、16の「推進施策」、3つの「重点施策」ごとにまとめ、記載しています。

なお、16の「推進施策」は5つの「基本方針」「基本目標」に基づき、推進施策と具体的な取り組みを落とし込み、優先的に「できることを、できるところから、継続して」を基本的な考え方としていることから内容としては重複していますが、より分かりやすい記載としています。

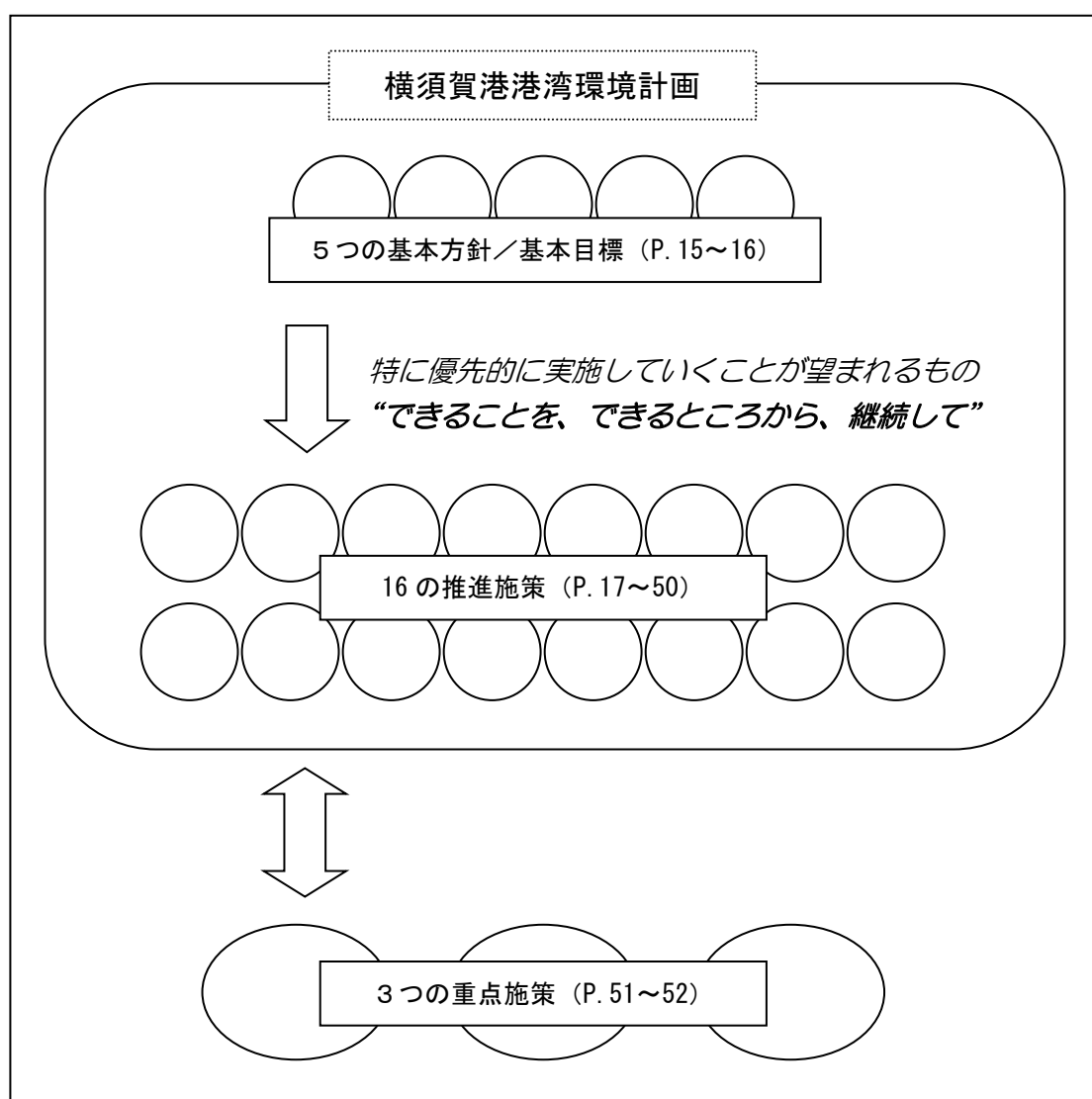


図4 進行管理の対象



## 2-1 平成28年度の主な施策・取り組み

平成28年3月に「横須賀港港湾環境計画」を改定し、新たに5つの基本目標を設定し、13の地区ごとの地域特性を踏まえ、目標に向けた施策や取り組みを推進していくこととしました。

平成25年度に開始したエコツアーは、前年度を上回る678回実施しました。

また、新たな実施場所として長井・荒崎地区を選定し、実施予定団体と調整を行いました。(P.17・18、23・24)

新港地区及び平成地区で実施している「横須賀うみかぜカーニバル」は、初の試みでヨガ体験を実施し、来場者約6,100人、スーパーキッズボート等の無料体験乗船者1,099人と昨年を上回る来場者でした。(P.19・20、31・32、33・34)

平成28年度から実施した横須賀の港の様子や歴史を感じる場を提供するための「横須賀港を巡る船上見学会」は、多くの募集があり、抽選にて110人の参加となりました。(P.21・22、47・48)

平成24年度に実施した「よこすか海の専門ガイド養成講座」の修了者で設立された「よこすか海遊クラブ(旧:よこすか海のガイドクラブ)」とよこすか海の市民クラブとの共催による活動として、「海の観察会」を実施しました。(P.19・20、27・28、31・32)

本計画の上位計画である「横須賀市環境基本計画(2011~2021)」のリーディング・プロジェクト「よこすか海辺環境保全・再生プロジェクト」に基づき、横須賀港において海に親しめる場を創出する横須賀港浅海域保全・再生事業は、追浜地区での整備内容の詳細について、関係者・関係機関と協議・調整を実施するとともに、整備後の利活用や管理について検討を行い、庁内関係課と協議・調整を実施しました。(P.21・22、29・30、33~36、39・40、43・44)

野比から津久井浜周辺では、ANAウインドサーフィンのワールドカップを誘致するため、民間企業・競技団体等と実行委員会を設置し、誘致活動を行いました。(P.31・32)

本港地区での民間事業者による取り組みである「YOKOSUKA 軍港めぐり」については、平成28年度の年間利用者は237,552人(前年比124.5%、46,818人増)となり、本市の観光や港への関心を高める人気スポットとなっています。(P.47・48)

## 2-2 5つの「基本方針／基本目標」の進捗状況

ここでは、5つの「基本方針／基本目標」ごとにこれまでの施策や取り組みも含めての進捗状況をまとめています。(P.6)

### (1) 市民協働による推進／多様な主体（市民、市民活動団体、学校等）との協働による取り組みを進めます

- ①東京湾口から撤去された第三海堡構築物（遺構）は、平成22年度に夏島都市公園内に移設展示され、現在、地域のNPO団体が海堡の説明を行っています。(P.17・18、45・46)
- ②平成24年度に実施した横須賀（東京湾）の海の楽しみ方や魅力を伝える「よこすか海の専門ガイド」養成講座の修了者で設立された「よこすか海のガイドクラブ（現：よこすか海遊クラブ）」の活動が平成25年度から始まり、平成28年度は観音崎で「海の観察会」を実施しました。(P.19・20、27・28、31・32)
- ③平成20年度から実施した「クサフグの産卵観察会」は、地元住民及び指定管理者の主催で深浦ポートパーク内の岩場にて観察会を実施し、平成28年度は160人の参加者でした。(P.19・20、27・28、31・32)
- ④平成24年度から検討を始めた浅海域保全・再生事業では、追浜地区での整備内容の詳細について関係者・関係機関と協議・調整を実施するとともに、整備後の利活用や管理について検討を行い、庁内関係課と協議・調整を実施しました。(P.21・22、29・30、33～36、39・40、43・44)

### (2) 利用と環境の調和／市民等が海を身近に感じ、海に親しめる機会を創出します

- ①小学校を対象とした「猿島自然観察会」を実施し、東京湾唯一の自然島である「猿島」を通じて自然に親しむ機会を提供しました。(P.25・26)
- ②小学校を対象に観音崎での自然観察会、海岸清掃、美術館見学を一体化したプログラムを「観音崎ウォークラリー」として実施しました。(P.27・28)
- ③行政・市民（市民団体）・観光協会・事業者等が協力・連携して、さまざまなイベントを開催しました。(P.29～32)
- ④「客船歓迎イベント」では、久里浜港に客船「ばしふいっくびいなす」が寄港し、歓迎イベント、船内の一般公開及びふ頭の一般開放を実施しました。(P.31・32)

### (3) 快適な生活環境の形成／市民が安心して暮らせるまち、市民が憩える水辺空間を創出します

- ①長浦地区については、市民が海を身近に感じる水辺空間の創出のための港湾緑地の整備について、整備に向けた土地所有者や土地等利用者との協議・調整を進めています。(P.35・36)
- ②海岸浸食対策として、野比海岸と北下浦海岸の離岸堤整備を進めています。(P.35・36、43・44)

③大津地区においても高潮被害が多いことから市民の安心・安全を守るため、平成 22 年度に高潮対策事業に着手し、整備を進めています。(P. 35・36)

#### (4) 海的环境再生／水質・底質及び生物多様性・生態系の補選・再生を進めます

- ①(公財) かながわ海岸美化財団と市民ボランティアとが連携し、海岸清掃を実施しました。(P. 37・38)
- ②走水海岸や緑陰道路(馬堀海岸)では、地元住民や近隣の小学生を中心としたボランティアにより清掃を実施しました。(P. 37・38)
- ③燈明堂では、横須賀市まちかど里親制度を利用した市民ボランティアによる砂浜の美化活動が行われました。(P. 37・38)
- ④武山山系および相模湾と猿島で海浜調査、前田川と平作川で流域調査を様々な主体と連携し、季節ごとに実施しました。また、ため池の現況調査を実施しました。(P. 27・28、41・42)

#### (5) 活力あるまちの創造／横須賀の資源(景観・歴史、ブランドなど)を活かした海の魅力の発信を進めます

- ①平成 20 年度に市内事業者による「YOKOSUKA 軍港めぐり」が定期航路化され、毎年利用者が増加し、横須賀の観光スポットになっています。(P. 47・48)
- ②平成 16 年度から実施した市民ボランティア団体を中心となり、レンガドックなどの近代産業遺産を実験的に活用する「レンガドック活用イベント」を平成 28 年度は 4 回実施しました。(P. 47・48)
- ③平成 26 年度から実施した地産地消の推進、集客・定住の促進、地域経済の活性化を図る「よこすか海の幸フェア」を平成 28 年度は 4 回実施しました。(P. 49・50)
- ④横須賀の海が持つ豊かな地域資源を身近に体験してもらう「よこすかさかな祭り」について平成 28 年度の参加者は 15,000 人でした。(P. 29・30、49・50)
- ⑤海を活かした産業の活性化として、自動車運搬船等によるふ頭の利用の推進や航路誘致のため、船社、荷主などにポートセールスを実施しました。(P. 49・50)

## 2-3 16の推進施策の進捗状況

基本方針 I 市民協働による推進

基本目標 i 多様な主体(市民、市民活動団体、学校等)との協働による取り組みを進めます

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
	ア 横須賀エコツアー推進事業	本市の魅力ある自然観光資源(自然環境に係る観光資源)を守りながら、多くの人々が身近にふれあうことができるエコツアーの実施を推進	
+	イ 第三海堡建造物の展示・公開 (夏島都市緑地)	明治時代に建設され、関東大震災によって崩壊した第三海堡(海上要塞)を保存、公開	
	ウ 猿島公園専門ガイド養成講座サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・猿島の自然環境や歴史をガイドする「猿島公園専門ガイド」を養成</li> <li>・平成26年度からはガイド協会の自主事業として養成講座を実施、公園管理課でサポート</li> </ul>	
	エ 走水低砲台跡等活用事業	平成27年度にソフト・ハード面の整備を完了し、平成28年度から「猿島公園専門ガイド」によりガイド開始	

状況	平成28年度	実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	事業実績				
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコツアーの実施:678回</li> <li>・「横須賀エコツアー連絡会議」を引き続き開催</li> <li>・「横須賀エコツアーサポート協会」によるエコツアー実施団体への支援を実施(周知、ガイド向けの研修ほか)</li> <li>・新たな実施場所を選定(長井・荒崎地区)し、実施予定団体と調整を実施</li> </ul>	市	自然環境共生課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成24年度</li> <li>平成25年度のエコツアー実施に向けた体制づくりとして「横須賀エコツアー連絡会議」を設置し、パンフレット作成やガイド向けの研修を実施</li> <li>■平成25年度</li> <li>・エコツアーの実施90回</li> <li>・「横須賀エコツアー連絡会議」を開催、ガイド向けの研修等の実施</li> <li>・エコツアー実施団体をサポートする団体設立に向け、準備会議を設置</li> <li>■平成26年度</li> <li>・エコツアーの実施:247回</li> <li>・「横須賀エコツアー連絡会議」を開催、ガイド向けの研修等の実施</li> <li>・エコツアー実施団体をサポートする団体「横須賀エコツアーサポート協会」を10月に設立し、エコツアー実施団体が必要とする支援を開始</li> <li>■平成27年度</li> <li>・エコツアーの実施:518回</li> <li>・「横須賀エコツアー連絡会議」を引き続き開催し、ガイド向けの研修等を実施</li> <li>・「横須賀エコツアーサポート協会」によるエコツアー実施団体への支援の実施</li> <li>・新たな実施場所に関する検討</li> </ul>
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第1日曜日に一般公開を実施</li> <li>入場者:387人</li> <li>団体見学:143人</li> <li>Y・フェスタ追浜での公開:590人</li> </ul>	NPO法人	アクションおっぴま ※市関係課は公園管理課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成22年度</li> <li>第三海堡構造物を夏島都市公園内に保存</li> <li>■平成23年度～</li> <li>毎月第1日曜日に一般公開</li> <li>■平成25年度</li> <li>入場者:362人</li> <li>団体見学:192人</li> <li>Y・フェスタ追浜での公開:約500人</li> <li>■平成26年度</li> <li>入場者:367人</li> <li>団体見学:265人</li> <li>Y・フェスタ追浜での公開:973人</li> <li>■平成27年度</li> <li>・毎月第1日曜日に一般公開</li> <li>入場者:477人</li> <li>団体見学:151人</li> <li>Y・フェスタ追浜での公開:2,538人</li> </ul>
完了	平成27年度で事業終了	市 市民団体	公園管理課 猿島公園専門ガイド協会	平成30年度に第5期生の養成予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成21年度(第1期)</li> <li>猿島公園専門ガイド養成講座を実施:受講者13人</li> <li>■平成26年度(第3期)</li> <li>猿島公園専門ガイド主体で猿島公園専門ガイド養成講座を実施:受講者4人</li> <li>■平成27年度(第4期)</li> <li>専門ガイド養成講座をガイド協会主体で実施、公園管理課でサポート10回実施:受講者14人</li> </ul>
完了	平成27年度で事業終了	市	公園管理課	ガイドブック等の増刷等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成27年度</li> <li>ガイドブック等作成・ガイド研修・アプリの開発・テストツアーの実施・広告宣伝・整備工事・樹木伐採等</li> </ul>

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
①地域や学校の中で海に親しめる場をつくろう	オ クサフグの産卵観察会	毎年5月下旬から7月上旬の大潮に近い時期に、深浦ボートパーク内の岩場に集まるクサフグの産卵を観察	
	カ うみかぜ画廊の維持管理	うみかぜ画廊の維持管理	
	キ 横須賀うみかぜカーニバル	海上でエンジン付ゴムボートやモーターボート等のマリンスポーツの体験乗船会等を実施	
	ク 海の観察会の実施	スノーケルや箱メガネなどを使った海の生き物の観察会などを実施	

状況	平成28年度	実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	事業実績				
継続	6月10日実施 160人参加 (うち子ども70人)	地元住民 指定管理者	日向自治会 Maris&KMBP 共同事業体 ※市関係課は 港湾総務課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成20年度～ 観察会実施</li> <li>■平成24年度 6月6日実施: 200人参加(うち子ども130人)</li> <li>■平成25年度 6月11日実施: 200人参加(うち子ども140人)</li> <li>■平成26年度 6月4日実施: 170人参加(うち子ども70人)</li> <li>■平成27年度 6月14日実施 170人参加(うち子ども70人)</li> </ul>
継続	適切な維持管理を実施	市	港湾企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成21年度 馬堀海岸高潮対策護岸の護岸壁を利用して、市民の手により20点の絵画を制作</li> <li>■平成25年度 次回描き換えに向けた手法等を検討</li> <li>■平成26年度 市立横須賀総合高校美術部の生徒及び生徒が作成した原画から15点を展示</li> <li>■平成27年度 適切な維持管理を実施</li> </ul>
継続	7月16、17日実施 (来場者約6,100人、体験乗船会1,099人) ・ヨガ体験実施	実行委員会	横須賀うみかぜ カーニバル実行委員会 ・港湾企画課 ・(公財)マリンスポーツ財団 ・マリスクラブ湘南	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成9年度から事業実施</li> <li>■平成24年度 7月21、22日実施: 来場者約3,800人、体験乗船者179人 ※悪天候のため体験乗船の一部を中止</li> <li>■平成25年度 7月20、21日実施: 来場者約7,100人、体験乗船者1,068人 ※強風による波浪のため体験乗船の一部を中止 ・ビーチバレーなどのイベントを行う「Save the Beach in 横須賀2013」との同時開催</li> <li>■平成26年度 7月19、20日実施: 来場者約6,200人、体験乗船者1,048人</li> <li>■平成27年年度 7月18、19日実施: 来場者約5,500人、体験乗船者706人 ※強風による波浪のため体験乗船の一部を中止</li> </ul>
継続	8月7日 海の観察会(観音崎)	市民団体	よこすか海の市民会議 ※市関係課は 港湾企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>※市が後援したイベントのみ記載</li> <li>■平成24年度 8月19日 深浦湾観察会</li> <li>■平成25年度 7月20日 海の観察会(観音崎) 8月17日 海の観察会(深浦湾)</li> <li>■平成26年度 8月23日 海の観察会(深浦湾) ※「よこすか海のガイドクラブ」との共催</li> <li>■平成27年度 8月1日 海の観察会(深浦湾) ※「よこすか海のガイドクラブ」との共催</li> </ul>

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
①地域や学校の中で海に親しめる場をつくろう	ケ 「よこすか海のガイドクラブ」の活動、活動支援	「よこすか海の専門ガイド養成講座」の修了者が設立した「よこすか海のガイドクラブ」の活動・支援	
	コ 横須賀港を巡る船上見学会	横須賀の港の様子や歴史を感じる場を提供するため、横須賀港内を船で巡る船上見学会を実施	
	サ 横須賀港浅海域保全・再生事業	海と触れ合う場の創出や良好な海辺環境の保全・再生のため、横須賀港における浅海域の整備について検討	



状況	平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	状況	事業実績				
継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「よこすか海のガイドクラブ」は「よこすか海遊クラブ」に統合</li> <li>※「よこすか海遊クラブ」は「よこすか海の市民会議」内の会</li> <li>【活動】</li> <li>8月7日海の観察会(観音崎)</li> <li>【支援】</li> <li>「広報よこすか」への掲載</li> </ul>	市民団体 市	よこすか海遊クラブ  ※市関係課は 港湾企画課	継続して実施	<b>【活動】</b> ■平成25年度 ・7月に設立 ・他の活動団体への協力、会員のスキルアップ講習の実施、海の観察会の実施(長井) ■平成26年度 8月23日 海の観察会(深浦湾) ※「よこすか海の市民会議」との共催 ■平成27年度 8月1日 海の観察会(深浦湾) ※「よこすか海の市民会議」との共催 <b>【支援】</b> ■平成25年度 ・「広報よこすか」への掲載 ・補助金の支出 ■平成26年度 ・「広報よこすか」への掲載 ・補助金の支出 ■平成27年度 ・「広報よこすか」への掲載 ・補助金の支出(平成27年度で終了)
継続	7月16日実施 参加者110人		市	港湾企画課	継続して実施	—
継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備内容の詳細について、関係者及び関係機関と協議・調整を実施</li> <li>・整備後の利活用や管理等について検討を行い、庁内関係課と協議・調整を実施</li> </ul>	市	港湾企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備内容の詳細検討及び整備着手</li> <li>・整備後の利活用や管理等についての検討並びに関係者及び関係機関との協議・調整</li> </ul>	■平成24年度 整備箇所、利活用や整備の方法などについて研究・検討するため横須賀港浅海域保全・再生研究会を設置し、3回開催(7、10、1月) ■平成25年度 横須賀港浅海域保全・再生研究会を3回開催(5、10、2月)し、これまでの研究・検討成果を報告書として作成 ■平成26年度 追浜地区での浅海域整備に向けて関係者・関係機関と協定を締結 ■平成27年度 ・追浜地区での整備について、整備後の利活用や管理等に関する意見交換会(3回)及び地元説明会(1回)の実施 ・基本的な整備内容について関係者・関係機関と協定を締結

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
②海に関するネットワークづくりを進めよう	ア ホームページ「よこすかの環境保全活動」の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体、事業者、学校での環境保全活動を紹介するホームページ「よこすかの環境保全活動」の運用</li> <li>・インターネット利用による環境情報ネットの設置</li> </ul>	
	イ よこすかECO通信の発行	市民団体・学校・行政等で構成する「環境教育・環境学習ネットワーク会議」のトライアル事業として、市内の環境関連事業の情報の一元化を図り、それらの情報の発信を行うため情報誌を作成・配布	
	ウ 横須賀エコツアー推進事業《再掲》	本市の魅力ある自然観光資源(自然環境に係る観光資源)を守りながら、多くの人々が身近にふれあうことができるエコツアーの実施を推進	

状況	平成28年度	実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	事業実績				
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体等の環境活動を紹介</li> <li>・掲載団体数:12団体(内訳:市民団体8、事業者3、学校1)</li> </ul>	市	環境企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成17年度～</li> <li>ホームページにおいて情報を公開</li> <li>■平成27年度</li> <li>市民団体等の環境活動を紹介</li> <li>掲載団体数:13団体(内訳)市民団体9、事業者3、学校1</li> </ul>
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回(6、9、12、3月)、各3,500部作成</li> <li>・市関連施設での配架、市内学校等への配布</li> </ul>	市	環境企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成23年度</li> <li>事業開始</li> <li>■平成23～25年度</li> <li>・年4回(6、9、12、3月)、各5,000部作成</li> <li>・市関連施設での配架、市内学校等への配布</li> <li>■平成26年度</li> <li>・年4回(6、9、12、3月)、各3,500部作成</li> <li>・市関連施設での配架、市内学校等への配布</li> <li>■平成27年度</li> <li>・年4回(6、9、12、3月)、各3,500部作成</li> <li>・市関連施設での配架、市内学校等への配布</li> </ul>
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコツアーの実施:678回</li> <li>・「横須賀エコツアー連絡会議」を引き続き開催</li> <li>・「横須賀エコツアーサポート協会」によるエコツアー実施団体への支援を実施(周知、ガイド向けの研修ほか)</li> <li>・新たな実施場所を選定(長井・荒崎地区)し、実施予定団体と調整を実施</li> </ul>	市	自然環境共生課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成24年度</li> <li>平成25年度のエコツアー実施に向けた体制づくりとして「横須賀エコツアー連絡会議」を設置し、パンフレット作成やガイド向けの研修を実施</li> <li>■平成25年度</li> <li>・エコツアーの実施90回</li> <li>・「横須賀エコツアー連絡会議」を開催、ガイド向けの研修等の実施</li> <li>・エコツアー実施団体をサポートする団体設立に向け、準備会議を設置</li> <li>■平成26年度</li> <li>・エコツアーの実施:247回</li> <li>・「横須賀エコツアー連絡会議」を開催、ガイド向けの研修等の実施</li> <li>・エコツアー実施団体をサポートする団体「横須賀エコツアーサポート協会」を10月に設立し、エコツアー実施団体が必要とする支援を開始</li> <li>■平成27年度</li> <li>・エコツアーの実施:518回</li> <li>・「横須賀エコツアー連絡会議」を引き続き開催し、ガイド向けの研修等を実施</li> <li>・「横須賀エコツアーサポート協会」によるエコツアー実施団体への支援の実施</li> <li>・新たな実施場所に関する検討</li> </ul>

基本方針 II 利用と環境の調和  
 基本目標 ii 市民等が海を身近に感じ、海に親しめる機会を創出します

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
	ア 冊子「よこすかのかんきょう」の作成・配付	環境について子ども向けに分かりやすく解説した冊子「よこすかのかんきょう」の配布及び新年度版の作成	
③横須賀港の自然環境を学び、海に触れてみよう	イ 猿島自然観察会	子どもたちに体験型環境教育(フィールドワーク)の機会を提供するため、東京湾唯一の自然島「猿島」で自然観察を実施	

状況	平成28年度	実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	事業実績				
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27・28年度版を市内希望校等に配布(1,270冊のうち小学校699冊)</li> <li>平成29・30年度版の冊子「よこすかのかんきょう」を作成(3,000冊)</li> </ul>	市	環境企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成14年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>冊子「よこすかのかんきょう」改定(主眼を公害問題から環境問題に変更)</li> <li>平成24年度版の作成(2,000部)</li> </ul> </li> <li>■平成24年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度版を市内希望校等に配布(1,042部のうち小学校742部)</li> <li>平成25年度版の作成(2,000部)</li> </ul> </li> <li>■平成25年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度版を市内希望校等に配布(1,001部のうち小学校605部)</li> <li>平成26年度版の作成(2,000部)</li> </ul> </li> <li>■平成26年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度版を市内希望校等に配布(1,656部のうち小学校844部)</li> <li>平成27・28年度版の作成(4,000部)</li> </ul> </li> <li>■平成27年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27・28年度版を市内希望校等に配布(905部のうち小学校508部)</li> </ul> </li> </ul>
継続	学校対象: 6月6日:津久井小 6年生74人、教諭3人 7月11日:野比東小 3年生82人、教諭4人 7月19日:諏訪小 3年生58人、教諭5人 9月2日:山崎小 3年生67人、教諭4人 9月27日:追浜小 3年生23人、教諭3人 9月30日:追浜小 5年生21人、教諭2人	市	環境企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成20年度から事業実施</li> <li>■平成24年度           一般対象:            6月2日:子ども28人、保護者23人            学校対象:            6月14日:汐入小 3年生12人、教諭2人            7月17日:明浜小 3年生130人、教諭7人            9月14日:池上小 3年生119人、教諭6人            11月22日:豊島小 3年生39人、教諭2人         </li> <li>■平成25年度           学校対象:            6月4日:汐入小 3年生21人、教諭3人            6月11日:馬堀小 3年生41人、教諭4人            6月28日:諏訪小 3年生54人、教諭4人            7月12日:森崎小 6年生63人、教諭3人            10月9日:追浜小 3年生24人、教諭2人            10月23日:豊島小 3年生35人、教諭3人            11月8日:船越小 3年生83人、教諭4人         </li> <li>■平成26年度           学校対象:            5月8日:浦賀小 6年生87人、教諭6人            6月5日:衣笠小 4年生65人、教諭5人            6月27日:諏訪小 3年生54人、教諭6人            7月8日:汐入小 3年生22人、教諭2人            10月17日:山崎小 3年生75人、教諭4人            11月17日:野比東小 4年生61人、教諭4人         </li> <li>■平成27年度           学校対象:            6月23日:追浜小 3年生34人、教諭3人            7月8日:野比東小 4年生91人、教諭4人            7月15日:汐入小 3年生15人、教諭2人            8月28日:山崎小 3年生85人、教諭5人            9月4日:諏訪小 3年生67人、教諭4人         </li> </ul>

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
③横須賀港の自然環境を学び、海に触れてみよう	ウ 観音崎ウォークラリー	小学校を対象に観音崎をフィールドとした自然観察会、海岸清掃、美術館見学を一体化した「観音崎ウォークラリー」の実施	
	エ 身近な自然の保全とふれあい推進事業における自然環境調査	市民が身近な自然と触れ合う機会を提供するため、自然環境調査や自然観察会などを実施するほか、生物多様性への取組に向けた検討を実施	
	オ クサフグの産卵観察会《再掲》	毎年5月下旬から7月上旬の大潮に近い時期に、深浦ボートパーク内の岩場に集まるクサフグの産卵を観察	
	カ 海の観察会の実施《再掲》	スノーケルや箱メガネなどを使った海の生き物の観察会などを実施	

状況	平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	状況	事業実績				
継続	11月10日 野比東小 4年生67人、 教諭3人		市	環境企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成25年度 9月20日:豊島小 3年生36人、教諭2人</li> <li>■平成26年度 応募校がなかったため未実施</li> <li>■平成27年度 9月29日:野比東小 4年生90人、教諭4人</li> </ul>
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武山山系(植物、昆虫、野鳥)および追加調査として相模湾と猿島で海浜調査(昆虫)、前田川と平作川で流域調査(植物、昆虫、水生生物)を様々な主体と連携し、季節ごとに実施</li> <li>・ため池の現況調査を実施</li> <li>・自然観察会の開催(観音崎公園)</li> </ul>		市 市民団体	自然環境共生課  自然・人文博物館  相模湾海洋生物研究会、日本野鳥の会神奈川支部、三浦半島昆虫研究会、横須賀植物会、横須賀「水と環境」研究会	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成26年度 東京湾側海岸(海辺生物・昆虫)及び前田川(植物・水生生物・昆虫・野鳥・水質)について、様々な主体と連携した自然環境調査を季節ごとに実施</li> <li>■平成27年度 相模湾側海岸(海辺生物・昆虫)及び平作川(植物・水生生物・昆虫・野鳥・水質)について、様々な主体と連携した自然環境調査を季節ごとに実施</li> </ul>
継続	6月10日実施 160人参加 (うち子ども70人)		地元住民 指定管理者	日向自治会  Maris&KMBP 共同事業体  ※市関係課は 港湾総務課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成20年度～ 観察会実施</li> <li>■平成24年度 6月6日実施: 200人参加(うち子ども130人)</li> <li>■平成25年度 6月11日実施: 200人参加(うち子ども140人)</li> <li>■平成26年度 6月4日実施: 170人参加(うち子ども70人)</li> <li>■平成27年度 6月14日実施: 170人参加(うち子ども70人)</li> </ul>
継続	8月7日 海の観察会(観音崎)		市民団体	よこすか海の市民会議  ※市関係課は 港湾企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>※市が後援したイベントのみ記載</li> <li>■平成24年度 8月19日 深浦湾観察会</li> <li>■平成25年度 7月20日 海の観察会(観音崎) 8月17日 海の観察会(深浦湾)</li> <li>■平成26年度 8月23日 海の観察会(深浦湾) ※「よこすか海のガイドクラブ」との共催</li> <li>■平成27年度 8月1日 海の観察会(深浦湾) ※「よこすか海のガイドクラブ」との共催</li> </ul>

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
③横須賀港の自然環境を学び、海に触れてみよう	キ 横須賀港浅海域保全・再生事業《再掲》	海と触れ合う場の創出や良好な海辺環境の保全・再生のため、横須賀港における浅海域の整備について検討	
④海や港湾に携わる人々の仕事や役割を知ろう	ア 海・港のお仕事探険事業	海や港に関わる様々な仕事を紹介することで子供たちが海や港に関心を持ってもらうため見学会や体験会を実施	
⑤魅力あるイベントを開催し、人々の交流を推進しよう	ア 咸臨丸フェスティバル	幕末の安政7年(1860年)1月、日米修好通商条約の批准書を取り交わすため、遣米使節の随伴艦(艦長格:勝海舟)として、浦賀から出航し、日本人初の太平洋横断を成し遂げた「咸臨丸」の壮举を称えとともに、住友重機械工業(株)浦賀工場跡地の有効利用を通して、地域の活性化を図り、交流人口の拡大を図る	
	イ 久里浜ペリー祭	ペリー上陸により、近代日本の幕開けとなった久里浜の地に、文化と伝統を通して地域住民の連帯感及び、ふるさと郷土愛の意識を高めるため、開催する。 よこすか開国バザール、水師提督ペリー上陸記念式典、日米親善ペリーパレード、久里浜ペリー祭花火大会を合わせて実施	
	ウ よこすかさかな祭り	地場の新鮮で安全な魚介類を直接消費者等に『見て・食べて・買って・遊んで・学んで』もらい、よこすかの海が持つ豊かな地域資源を来場者に身近に体験してもらう	
	エ 走水のりフェスタ	漁場を身近に感じてもらうと共に、地域ブランドの向上を図り、地産地消を推進するため、走水名産の新鮮な海苔やワカメなどを試食・販売	



状況	平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	状況	事業実績				
継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>整備内容の詳細について、関係者及び関係機関と協議・調整を実施</li> <li>整備後の利活用や管理等について検討を行い、庁内関係課と協議・調整を実施</li> </ul>	市	港湾企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備内容の詳細検討及び整備着手</li> <li>整備後の利活用や管理等についての検討並びに関係者及び関係機関との協議・調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度 整備箇所、利活用や整備の方法などについて研究・検討するため横須賀港浅海域保全・再生研究会を設置し、3回開催(7、10、1月)</li> <li>平成25年度 横須賀港浅海域保全・再生研究会を3回開催(5、10、2月)し、これまでの研究・検討成果を報告書として作成</li> <li>平成26年度 追浜地区での浅海域整備に向けて関係者・関係機関と協定を締結</li> <li>平成27年度 追浜地区での整備について、整備後の利活用や管理等に関する意見交換会(3回)及び地元説明会(1回)の実施</li> <li>基本的な整備内容について関係者・関係機関と協定を締結</li> </ul>
未着手		—	市	港湾企画課	関係部署や企業等と調整・検討	—
継続		来場者数:約32,000人	市 観光協会	浦賀行政センター 浦賀観光協会 咸臨丸フェスティバル実行委員会	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>咸臨丸フェスティバルは、平成11年度～その以前の咸臨丸まつりは、開始年度不明</li> </ul>
継続		7月16日実施 来場者数 ①バザール 約10,000人 ②式典 294人 ③パレード 約12,000人 ④花火 約90,000人	市 観光協会 市民団体	久里浜観光協会(③④) 久里浜商店会協同組合(①) 国際交流課(②) ※市関係課は久里浜行政センター(①③④)	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度 7月14日実施 来場者数: バザール 約10,000人、式典 270人、 花火大会 約98,000人</li> <li>平成25年度 7月13日実施 来場者数: バザール 約12,000人、式典 275人、 パレード 約5,000人、花火 約98,000人</li> <li>平成26年度 7月12日実施 来場者数: バザール 約10,000人、式典 310人、 パレード 約10,000人、花火 約98,000人</li> <li>平成27年度 7月11日実施 来場者数: バザール 約10,000人、式典 270人、 パレード 約12,000人、花火 約98,000人</li> </ul>
継続		実施日:10月2日 来場者数:約15,000人	実行委員会	よこすかさかな祭り実行委員会 ※市関係課は農林水産課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度 実施日:10月6日、来場者数:約12,000人</li> <li>平成26年度 実施日:10月5日、来場者数:約7,500人</li> <li>平成27年度 実施日:10月4日、来場者数:約12,500人</li> </ul>
継続		実施日:2月25日 来場者数:約1,200人	漁業協同組合	横須賀市東部漁業協同組合 走水大津支所 ※市関係課は農林水産課	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度 継続して実施</li> <li>平成30年度以降は未定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度 実施日:2月22日、来場者数:約1,300人</li> <li>平成26年度 実施日:2月28日、来場者数:約2,000人</li> <li>平成27年度 実施日:2月27日、来場者数:約3,300人</li> </ul>

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
⑤魅力あるイベントを開催し、 人々の交流を推進しよう	オ クサフグの産卵観察会《再掲》	毎年5月下旬から7月上旬の大潮に近い時期に、深浦ボートパーク内の岩場に集まるクサフグの産卵を観察	
	カ 客船歓迎イベント	客船寄港の際に客船歓迎イベントや市民への一般開放を実施するとともに、乗船客への市内観光ルートを提供	
	キ 横須賀うみかぜカーニバル《再掲》	海上でエンジン付ゴムボートやモーターボート等のマリンスポーツの体験乗船会等を実施	
	ク 海の観察会の実施《再掲》	スノーケルや箱メガネなどを使った海の生き物の観察会などを実施	
	ケ ANAウインドサーフィンワールドカップ 横須賀大会	ウインドサーフィンの世界最高峰の大会であるワールドカップを津久井浜で開催することで、これをきっかけに地域の活性化を図る	

状況	平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	事業実績					
継続	6月10日実施 160人参加(うち子ども70人)		地元住民 指定管理者	日向自治会 Maris&KMBP 共同事業体 ※市関係課は 港湾総務課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成20年度～ 観察会実施</li> <li>■平成24年度 6月6日実施: 200人参加(うち子ども130人)</li> <li>■平成25年度 6月11日実施: 200人参加(うち子ども140人)</li> <li>■平成26年度 6月4日実施: 170人参加(うち子ども70人)</li> <li>■平成27年度 6月14日実施 170人参加(うち子ども70人)</li> </ul>
継続	8月26日 ぱしふいっくびいなす寄港 船内見学者:約100人 久里浜港来場者:約850人		市	港湾企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成9年度から事業実施</li> <li>■平成24年度 につぼん丸寄港:11月17日 (荒天のため中止)</li> <li>■平成25・26・27年度 入港実績なし</li> </ul>
継続	7月16、17日実施 (来場者約6,100人、体験乗船会1,099人) ・ヨガ体験実施		実行委員会	横須賀うみかぜ カーニバル実行委員会 ・港湾企画課 ・(公財)マリンスポーツ財団 ・マリスクラブ湘南	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成9年度から事業実施</li> <li>■平成24年度 7月21、22日実施: 来場者約3,800人、体験乗船者179人 ※悪天候のため体験乗船の一部を中止</li> <li>■平成25年度 7月20、21日実施: 来場者約7,100人、体験乗船者1,068人 ※強風による波浪のため体験乗船の一部を中止 ・ビーチバレーなどのイベントを行う「Save the Beach in 横須賀2013」との同時開催</li> <li>■平成26年度 7月19、20日実施: 来場者約6,200人、体験乗船者1,048人</li> <li>■平成27年年度 7月18、19日実施: 来場者約5,500人、体験乗船者706人 ※強風による波浪のため体験乗船の一部を中止</li> </ul>
継続	8月7日 海の観察会(観音崎)		市民団体	よこすか海の市民会議 ※市関係課は 港湾企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>※市が後援したイベントのみ記載</li> <li>■平成24年度 8月19日 深浦湾観察会</li> <li>■平成25年度 7月20日 海の観察会(観音崎) 8月17日 海の観察会(深浦湾)</li> <li>■平成26年度 8月23日 海の観察会(深浦湾) ※「よこすか海のガイドクラブ」との共催</li> <li>■平成27年度 8月1日 海の観察会(深浦湾) ※「よこすか海のガイドクラブ」との共催</li> </ul>
新規	ウインドサーフィンワールドカップを誘致するため、民間企業・競技団体等と実行委員会を設立し、誘致活動を行った		実行委員会	ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会実行委員会 (構成メンバー) ANA、京急、JWA、神奈川県、横須賀市、三浦市 ※市関係課は 政策推進課	最低5年間の継続開催	—

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
⑥海のレジャーやレクリエーションの場をつくろう	ア うみかぜ公園の利活用 (うみかぜBBQ)	水辺に接したうみかぜ公園において、手軽にバーベキューが楽しめる環境を創出するため、「うみかぜBBQ」を実施	
	イ 横須賀うみかぜカーニバル《再掲》	海上でエンジン付ゴムボートやモーターボート等のマリンスポーツの体験乗船会等を実施	
	ウ 横須賀港浅海域保全・再生事業《再掲》	海と触れ合う場の創出や良好な海辺環境の保全・再生のため、横須賀港における浅海域の整備について検討	

状況	平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	状況	事業実績				
継続		指定管理者が「うみかぜBBQ」実施	指定管理者	(株)日産クリエイティブサービス ※市関係課は港湾総務課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成21年度 事業計画策定</li> <li>■平成22～25年度 市主体で「手ぶらでバーベキュー」実施</li> <li>■平成26・27年度 指定管理者が「うみかぜBBQ」実施</li> </ul>
継続		7月16、17日実施 (来場者約6,100人、体験乗船会1,099人) ・ヨガ体験実施	実行委員会	横須賀うみかぜカーニバル実行委員会 ・港湾企画課 ・(公財)マリンスポーツ財団 ・マリスクラブ湘南	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成9年度から事業実施</li> <li>■平成24年度 7月21、22日実施: 来場者約3,800人、体験乗船者179人 ※悪天候のため体験乗船の一部を中止</li> <li>■平成25年度 7月20、21日実施: 来場者約7,100人、体験乗船者1,068人 ※強風による波浪のため体験乗船の一部を中止 ・ビーチバレーなどのイベントを行う「Save the Beach in 横須賀2013」との同時開催</li> <li>■平成26年度 7月19、20日実施: 来場者約6,200人、体験乗船者1,048人</li> <li>■平成27年度 7月18、19日実施: 来場者約5,500人、体験乗船者706人 ※強風による波浪のため体験乗船の一部を中止</li> </ul>
継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備内容の詳細について、関係者及び関係機関と協議・調整を実施</li> <li>・整備後の利活用や管理等について検討を行い、庁内関係課と協議・調整を実施</li> </ul>	市	港湾企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備内容の詳細検討及び整備着手</li> <li>・整備後の利活用や管理等についての検討並びに関係者及び関係機関との協議・調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成24年度 整備箇所、利活用や整備の方法などについて研究・検討するため横須賀港浅海域保全・再生研究会を設置し、3回開催(7、10、1月)</li> <li>■平成25年度 横須賀港浅海域保全・再生研究会を3回開催(5、10、2月)し、これまでの研究・検討成果を報告書として作成</li> <li>■平成26年度 追浜地区での浅海域整備に向けて関係者・関係機関と協定を締結</li> <li>■平成27年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・追浜地区での整備について、整備後の利活用や管理等に関する意見交換会(3回)及び地元説明会(1回)の実施</li> <li>・基本的な整備内容について関係者・関係機関と協定を締結</li> </ul> </li> </ul>

基本方針 Ⅲ 快適な生活環境の形成  
 基本目標 iii 市民が安心して暮らせるまち、市民が憩える水辺空間を創出します

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
⑦市民の憩いの場となる親水性の高い水辺空間をつくろう	ア 横須賀港浅海域保全・再生事業《再掲》	海と触れ合う場の創出や良好な海辺環境の保全・再生のため、横須賀港における浅海域の整備について検討	
	イ 長浦地区港湾緑地整備事業	市民が海を身近に感じる水辺空間を創出するため、長浦地区における港湾緑地の整備(看板設置等を含む)について検討	
	ウ 港湾環境整備事業(浦賀港水際線プロムナード整備(西岸部))	横須賀港港湾計画に基づき港湾緑地などの港湾施設整備を推進	
⑧東京湾を一望できる、潮風を感じる砂浜をまもろう	ア 港湾海岸施設整備事業(海岸侵食対策)	港湾海岸侵食対策事業	
	イ 漁港海岸施設整備事業(海岸侵食対策)	漁港海岸侵食対策事業	
⑨海とともに安全・安心に暮らそう	ア 大津地区港湾海岸高潮対策事業	港湾海岸高潮対策として、護岸の整備を実施	

状況	平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	状況	事業実績				
継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備内容の詳細について、関係者及び関係機関と協議・調整を実施</li> <li>・整備後の利活用や管理等について検討を行い、庁内関係課と協議・調整を実施</li> </ul>	市	港湾企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備内容の詳細検討及び整備着手</li> <li>・整備後の利活用や管理等についての検討並びに関係者及び関係機関との協議・調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成24年度 整備箇所、利活用や整備の方法などについて研究・検討するため横須賀港浅海域保全・再生研究会を設置し、3回開催(7、10、1月)</li> <li>■平成25年度 横須賀港浅海域保全・再生研究会を3回開催(5、10、2月)し、これまでの研究・検討成果を報告書として作成</li> <li>■平成26年度 追浜地区での浅海域整備に向けて関係者・関係機関と協定を締結</li> <li>■平成27年度 ・追浜地区での整備について、整備後の利活用や管理等に関する意見交換会(3回)及び地元説明会(1回)の実施 ・基本的な整備内容について関係者・関係機関と協定を締結</li> </ul>
継続		土地所有者や土地等利用者との協議・調整	市	港湾企画課	田浦地域運営協議会や土地所有者等との協議・調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成25年度 地元との話し合い及び要望内容のヒアリングを実施</li> <li>■平成26年度 田浦地域運営協議会等との調整</li> <li>■平成27年度 ・土地境界及び土地所有者の確認 ・土地所有者や土地利用者との協議・調整 ・田浦地域運営協議会との調整</li> </ul>
休止		—	市	港湾建設課	事業休止	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成19年度から事業実施</li> <li>■平成20～26年度 浦賀港水際線プロムナード(西岸部)の緑地護岸を整備</li> <li>■平成27年度 浦賀港水際線プロムナード(西岸部)の遊歩道を整備(一部供用開始)</li> </ul>
継続		海岸侵食対策として、離岸堤を整備(野比海岸)	市	港湾建設課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成19年度に事業着手</li> <li>■平成20～27年度 海岸侵食対策として離岸堤を整備(野比海岸)</li> </ul>
継続		海岸侵食対策として、離岸堤を整備(北下浦漁港海岸)	市	港湾建設課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成19年度に事業着手</li> <li>■平成23・24年度 海岸侵食対策として大型突堤と離岸堤を整備</li> <li>■平成25～27年度 海岸侵食対策として離岸堤を整備(北下浦漁港海岸)</li> </ul>
継続		護岸整備	市	港湾建設課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成22年度 ・公有水面埋立願書の作成 ・漁業補償費の算定 ・基本設計 ・土質調査</li> <li>■平成23年度 ・漁業補償 ・実施設計 ・護岸整備</li> <li>■平成24～27年度 ・護岸整備</li> </ul>

基本方針 IV海環境再生

基本目標 iv水質・底質及び生物多様性・生態系の保全・再生を進めます

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
⑩海辺や海上の美化を推進し、海に対するマナーの向上を図ろう	ア 海浜地清掃事業	公益財団法人かながわ海岸美化財団と市民ボランティアとが連携し、海岸清掃を実施	
	イ 緑陰道路(馬堀海岸)の清掃	周辺住民の有志が国道16号線の歩道と高潮対策護岸を清掃	
	ウ 海岸美化ボランティア活動	「横須賀市まちかど里親制度(アダプト・プログラム)」を利用して、事業者が沿岸美化に協力	
	エ 馬堀海岸保全施設の清掃	市民及び利用者のための環境整備	
	オ 走水伊勢町海岸の清掃(東京湾クリーンアップ大作戦)	近隣の小中学生を中心としたボランティアにより伊勢町海岸を清掃	
	カ 砂浜美化ボランティア活動	「横須賀市まちかど里親制度(アダプト・プログラム)」を利用して、市民ボランティアが砂浜の美化に協力	
	キ 港湾施設管理事業(放置艇対策)	船舶の放置を防止することにより、公共水面等の利用の適正化を図るため、「横須賀市船舶の放置防止に関する条例」を適用し放置艇を保管施設へ移動	



状況	平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	状況	事業実績				
継続	437回	76,485kg	公益財団	公益財団法人 かながわ海岸美化財団 ※市関係課は 資源循環推進課	継続して実施	■平成3年度 ・かながわ海岸美化財団設立 ・清掃活動開始 ■平成24年度 418回 178,642kg ■平成25年度 408回 169,776kg ■平成26年度 428回 115,596kg ■平成27年度 438回 115,985kg ※相模湾側を含む数値
継続	毎月 第3土曜日 (年12回)に清掃実施		地元住民	緑陰道路美化清掃隊 ※市関係課は 交通計画課	継続して実施	■平成19年度 「馬堀海岸緑陰道路美化清掃隊」発足 清掃活動 月1回 ■平成20年度～ 清掃活動 年12回
継続	実績なし		事業者	(株)トライアングル ※市関係課は 港湾総務課	継続して実施	■平成19年度～ 里親ボランティアが漂着ごみ清掃実施 ■平成24年度 本港:12回 ■平成25年度 本港:3回 ■平成26年度 本港:4回 ■平成27年度 本港:2回
継続	遊歩道部分 (週1回) 窪地部分 (月1回)		市	港湾総務課	継続して実施	■平成18年度～ 遊歩道部分の清掃開始(週1回) ■平成20年度～ 遊歩道部分に加え窪地清掃開始(月1回)
継続	7月3日実施 243人参加		市	港湾総務課 近隣の小中学校 走水町内会 横須賀市東部漁業協同組合ほか	継続して実施	■平成13年度から事業実施 ■平成24年度 7月7日実施 ■平成25年度 7月13日実施 ■平成26年度 台風の接近に伴い中止 (予定日は7月12日) ■平成27年度 荒天のため中止
継続	燈明堂:7回		市民団体	西浦賀クリーン燈明堂 ※市関係課は 港湾総務課	継続して実施	■平成14年度～ 海浜地の清掃を実施 ■平成24年度 燈明堂:9回 ■平成25年度 燈明堂:9回 ■平成26年度 燈明堂:6回 ■平成27年度 燈明堂:8回
継続	実績なし		—	港湾総務課	継続して実施	【港湾施設管理事業】 ■平成22年度 横須賀市船舶の放置防止に関する条例施行 ■平成24年度 放置艇3隻に移動に向けた指導・勧告 ■平成25年度 放置艇4隻に移動に向けた指導・勧告 ■平成26年度 ・放置艇1隻を移動・保管 ・放置船舶処理委員会を開催 ・委員会の答申を受け、放置艇を廃棄処分 ■平成27年度 実績なし

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
⑩海辺や海上の美化を推進し、海に対するマナーの向上を図ろう	ク 海面清掃	海面清掃及び海中廃棄物の収集	
	ケ 周辺の自然環境と一体となった指定文化財の適正管理(燈明堂)	草刈、樹木剪定、伐採や清掃などにより史跡環境を保全	
⑪海のゆりかご アマモ場をはぐくもう	ア 横須賀港浅海域保全・再生事業《再掲》	海と触れ合う場の創出や良好な海辺環境の保全・再生のため、横須賀港における浅海域の整備について検討	
	イ アマモの植栽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民を募り、深浦湾でアマモの移植を実施</li> <li>・アマモ場で海の生き物の観察会を実施</li> </ul>	

状況	平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	状況	事業実績				
継続	委託清掃6回		市	港湾総務課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成21年度～海面清掃及び海中廃棄物の収集を開始</li> <li>■平成25～27年度年6回委託清掃を実施</li> </ul>
継続	園内清掃:千代ヶ崎砲台跡:9回		市	生涯学習課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成元年度～ごみ箱清掃等を実施</li> <li>■平成21～26年度ごみ箱清掃 燈明堂:60回</li> <li>■平成27年度ごみ箱清掃:燈明堂跡:13回</li> <li>園内清掃:千代ヶ崎砲台跡:9回</li> </ul>
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備内容の詳細について、関係者及び関係機関と協議・調整を実施</li> <li>・整備後の利活用や管理等について検討を行い、庁内関係課と協議・調整を実施</li> </ul>		市	港湾企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備内容の詳細検討及び整備着手</li> <li>・整備後の利活用や管理等についての検討並びに関係者及び関係機関との協議・調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成24年度整備箇所、利活用や整備の方法などについて研究・検討するため横須賀港浅海域保全・再生研究会を設置し、3回開催(7、10、1月)</li> <li>■平成25年度横須賀港浅海域保全・再生研究会を3回開催(5、10、2月)し、これまでの研究・検討成果を報告書として作成</li> <li>■平成26年度追浜地区での浅海域整備に向けて関係者・関係機関と協定を締結</li> <li>■平成27年度追浜地区での整備について、整備後の利活用や管理等に関する意見交換会(3回)及び地元説明会(1回)の実施</li> <li>・基本的な整備内容について関係者・関係機関と協定を締結</li> </ul>
継続	8月7日 海の観察会(観音崎)		市民団体	よこすか海の市民会議 ※市関係課は港湾企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>※市が後援したイベントのみ記載</li> <li>■平成24年度8月19日 深浦湾観察会</li> <li>■平成25年度7月20日 海の観察会(観音崎) 8月17日 海の観察会(深浦湾)</li> <li>■平成26年度8月23日 海の観察会(深浦湾) ※「よこすか海のガイドクラブ」との共催</li> <li>■平成27年度8月1日 海の観察会(深浦湾) ※「よこすか海のガイドクラブ」との共催</li> </ul>

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
⑫良好な自然環境を子どもたちに引き継ごう	ア 冊子「よこすかのかんきょう」の作成・配付《再掲》	環境について子ども向けに分かりやすく解説した冊子「よこすかのかんきょう」の配布及び新年度版の作成	
	イ 「公共施設における自然植生の保全に向けた考え方」の策定	都市公園等の公有地に存在する自然植生を守るために、「公共施設における自然植生の保全に向けた考え方」を策定	
	ウ 身近な自然の保全とふれあい推進事業における自然環境調査《再掲》	市民が身近な自然と触れ合う機会を提供するため、自然環境調査や自然観察会などを実施するほか、生物多様性への取組に向けた検討を実施	

状況	平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	状況	事業実績				
継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27・28年度版を市内希望校等に配布(1,270冊のうち小学校699冊)</li> <li>平成29・30年度版の冊子「よこすかのかんきょう」を作成(3,000冊)</li> </ul>	市	環境企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成14年度</li> <li>・冊子「よこすかのかんきょう」改定(主眼を公害問題から環境問題に変更)</li> <li>・平成24年度版の作成(2,000部)</li> <li>■平成24年度</li> <li>・平成24年度版を市内希望校等に配布(1,042部のうち小学校742部)</li> <li>・平成25年度版の作成(2,000部)</li> <li>■平成25年度</li> <li>・平成25年度版を市内希望校等に配布(1,001部のうち小学校605部)</li> <li>・平成26年度版の作成(2,000部)</li> <li>■平成26年度</li> <li>・平成26年度版を市内希望校等に配布(1,656部のうち小学校844部)</li> <li>・平成27・28年度版の作成(4,000部)</li> <li>■平成27年度</li> <li>・平成27・28年度版を市内希望校等に配布(905部のうち小学校508部)</li> </ul>
完了	—	—	市	自然環境共生課	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成24年度</li> <li>2か所(諏訪公園、荒崎公園)について策定(当該地区での実績なし)</li> <li>■平成25年度</li> <li>3か所の都市公園等(猿島公園、夏島貝塚、天神島臨海自然教育園)の現地調査を実施し、「公共施設における自然植生の保全に向けた考え方」を策定</li> <li>■平成26年度</li> <li>県立観音崎公園の管理者である県と調整を実施(現地調査及び自然植生保全配慮指針を策定しないこととなった)</li> <li>■平成27年度</li> <li>5つの都市公園等の現地調査及び自然植生保全配慮指針を策定し、各施設管理者に自然植生の適切な保全を依頼</li> <li>平成27年度で事業終了</li> </ul>
継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>武山山系(植物、昆虫、野鳥)および追加調査として相模湾と猿島で海浜調査(昆虫)、前田川と平作川で流域調査(植物、昆虫、水生生物)を様々な主体と連携し、季節ごとに実施</li> <li>・ため池の現況調査を実施</li> <li>・自然観察会の開催(観音崎公園)</li> </ul>	市 市民団体	自然環境共生課 自然・人文博物館 相模湾海洋生物研究会、日本野鳥の会 神奈川支部、三浦半島昆虫研究会、横須賀植物会、横須賀「水と環境」研究会	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成26年度</li> <li>東京湾側海岸(海辺生物・昆虫)及び前田川(植物・水生生物・昆虫・野鳥・水質)について、様々な主体と連携した自然環境調査を季節ごとに実施</li> <li>■平成27年度</li> <li>相模湾側海岸(海辺生物・昆虫)及び平作川(植物・水生生物・昆虫・野鳥・水質)について、様々な主体と連携した自然環境調査を季節ごとに実施</li> </ul>

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
⑫良好な自然環境を子どもたちに引き継ごう	エ 横須賀港浅海域保全・再生事業《再掲》	海と触れ合う場の創出や良好な海辺環境の保全・再生のため、横須賀港における浅海域の整備について検討	
	オ 港湾海岸施設整備事業(海岸侵食対策)《再掲》	港湾海岸侵食対策事業	
	カ 漁港海岸施設整備事業(海岸侵食対策)《再掲》	漁港海岸侵食対策事業	

状況	平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	状況	事業実績				
継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>整備内容の詳細について、関係者及び関係機関と協議・調整を実施</li> <li>整備後の利活用や管理等について検討を行い、庁内関係課と協議・調整を実施</li> </ul>	市	港湾企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備内容の詳細検討及び整備着手</li> <li>整備後の利活用や管理等についての検討並びに関係者及び関係機関との協議・調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度 整備箇所、利活用や整備の方法などについて研究・検討するため横須賀港浅海域保全・再生研究会を設置し、3回開催(7、10、1月)</li> <li>平成25年度 横須賀港浅海域保全・再生研究会を3回開催(5、10、2月)し、これまでの研究・検討成果を報告書として作成</li> <li>平成26年度 追浜地区での浅海域整備に向けて関係者・関係機関と協定を締結</li> <li>平成27年度 追浜地区での整備について、整備後の利活用や管理等に関する意見交換会(3回)及び地元説明会(1回)の実施</li> <li>基本的な整備内容について関係者・関係機関と協定を締結</li> </ul>
継続		海岸侵食対策として、離岸堤を整備(野比海岸)	市	港湾建設課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度に事業着手</li> <li>平成20～27年度 海岸侵食対策として、離岸堤を整備(野比海岸)</li> </ul>
継続		海岸侵食対策として、離岸堤を整備(北下浦漁港海岸)	市	港湾建設課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度に事業着手</li> <li>平成23・24年度 海岸侵食対策として、大型突堤と離岸堤を整備</li> <li>平成25～27年度 海岸侵食対策として、離岸堤を整備(北下浦漁港海岸)</li> </ul>

V 活力あるまちの創造

v 横須賀の資源(景観・歴史、ブランドなど)を活かした海の魅力の発信を進めます

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
⑬横須賀港の景観、歴史、遺産に触れよう(学ぼう)	ア 咸臨丸フェスティバル《再掲》	幕末の安政7年(1860年)1月、日米修好通商条約の批准書を取り交わすため、遣米使節の随伴艦(艦長格:勝海舟)として、浦賀から出航し、日本人初の太平洋横断を成し遂げた「咸臨丸」の壮举を称えるとともに、住友重機械工業(株)浦賀工場跡地の有効利用を通して、地域の活性化を図り、交流人口の拡大を図る	
	イ 久里浜ペリー祭《再掲》	ペリー上陸により、近代日本の幕開けとなった久里浜の地に、文化と伝統を通して地域住民の連帯感及び、ふるさと郷土愛の意識を高めるため、開催する。 よこすか開国バザール、水師提督ペリー上陸記念式典、日米親善ペリーパレード、久里浜ペリー祭花火大会を合わせて実施	
	ウ 第三海堡構造物の展示・公開(夏島都市緑地)《再掲》	明治時代に建設され、関東大震災によって崩壊した第三海堡(海上要塞)を保存、公開	
	エ 猿島公園専門ガイド養成講座サポート事業《再掲》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・猿島の自然環境や歴史をガイドする「猿島公園専門ガイド」を養成</li> <li>・平成26年度からはガイド協会の自主事業として養成講座を実施、公園管理課でサポート</li> </ul>	
	オ 走水低砲台跡等活用事業《再掲》	平成27年度にソフト・ハード面の整備を完了し、平成28年度から「猿島公園専門ガイド」によりガイド開始	



平成28年度		実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
状況	事業実績				
継続	来場者数:約32,000人	市 観光協会	浦賀行政センター 浦賀観光協会 咸臨丸フェスティバル実行委員会	継続して実施	■咸臨丸フェスティバルは、平成11年度～その以前の咸臨丸まつりは、開始年度不明
継続	7月16日実施 来場者数 ①バザール 約10,000人 ②式典 294人 ③パレード 約12,000人 ④花火 約90,000人	市 観光協会 市民団体	久里浜観光協会(③④) 久里浜商店会協同組合(①) 国際交流課(②) ※市関係課は久里浜行政センター(①③④)	継続して実施	■平成24年度 7月14日実施 来場者数: バザール 約10,000人、式典 270人、 花火大会 約98,000人 ■平成25年度 7月13日実施 来場者数: バザール 約12,000人、式典 275人、 パレード 約5,000人、花火 約98,000人 ■平成26年度 7月12日実施 来場者数: バザール 約10,000人、式典 310人、 パレード 約10,000人、花火 約98,000人 ■平成27年度 7月11日実施 来場者数: バザール 約10,000人、式典 270人、 パレード 約12,000人、花火 約98,000人
継続	・毎月第1日曜日に一般公開を実施 入場者:387人 団体見学:143人 Y・フェスタ追浜での公開:590人	NPO法人	アクションおっぱま ※市関係課は公園管理課	継続して実施	■平成22年度 第三海堡構造物を夏島都市公園内に保存 ■平成23年度～ 毎月第1日曜日に一般公開 ■平成25年度 入場者:362人 団体見学:192人 Y・フェスタ追浜での公開:約500人 ■平成26年度 入場者:367人 団体見学:265人 Y・フェスタ追浜での公開:973人 ■平成27年度 ・毎月第1日曜日に一般公開 入場者:477人 団体見学:151人 Y・フェスタ追浜での公開:2,538人
完了	平成27年度で事業終了	市 市民団体	公園管理課 猿島公園専門ガイド協会	平成30年度に第5期生の養成予定	■平成21年度(第1期) 猿島公園専門ガイド養成講座を実施:受講者13人 ■平成26年度(第3期) 猿島公園専門ガイド主体で猿島公園専門ガイド養成講座を実施:受講者4人 ■平成27年度(第4期) 専門ガイド養成講座をガイド協会主体で実施、公園管理課でサポート10回実施:受講者14人
完了	平成27年度で事業終了	市	公園管理課	ガイドブック等の増刷等	■平成27年度 ガイドブック等作成・ガイド研修・アプリの開発・テストツアーの実施・広告宣伝・整備工事・樹木伐採等

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
⑬横須賀港の景観、歴史、遺産に触れよう(学ぼう)	カ 記念艦「三笠」の展示・公開	明治時代に竣工、大正時代に記念館として保存、昭和36年に復元された記念艦「三笠」を展示・公開	
	キ YOKOSUKA軍港めぐり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米海軍や海上自衛隊がある本市の特徴を活かし、市内事業者が「軍港めぐり」を実施</li> <li>・近代史を学ぶ機会となると同時に本市の集客にも寄与</li> </ul>	
	ク 浦賀港周辺地区再整備事業(レンガドック活用イベント)	レンガドックなどの近代産業遺産を保全活用する(仮称)ミュージアム・パーク整備に向け、これらを実験的に活用するイベントを開催	
	ケ 横須賀港を巡る船上見学会《再掲》	横須賀の港の様子や歴史を感じる場を提供するため、横須賀港内を船で巡る船上見学会を実施	
	コ 近代化遺跡・近代化遺産の調査および資料整理	開発等に伴う市内近代化遺産の記録保存のための調査	
⑭海上アクセスによる交流を促進しよう	ア 客船誘致活動	クルーズ客船等を所有する船社に対して横須賀港への寄港を働きかける	

状況	平成28年度	実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	事業実績				
継続	平成28年 入込客数 252,360人 日本遺産構成文化財に 追加認定	事業者	(公財)三笠保存会 ※市関係課は 観光企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成24年 入込客数:203,631人</li> <li>■平成25年 入込客数:192,716人</li> <li>■平成26年 入込客数:228,107人</li> <li>■平成27年 入込客数:248,515人</li> </ul>
継続	平成28年 入込客数 228,490人	事業者	(株)トライアングル ※市関係課は 観光企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成20年度 「軍港めぐり」定期航路化</li> <li>■平成24年 入込客数:138,491人</li> <li>■平成25年 入込客数:163,654人</li> <li>■平成26年 入込客数:180,342人</li> <li>■平成27年 入込客数:198,563人</li> </ul>
継続	(仮称)ミュージアムパークの整備に向けて、レンガドック活用イベントを4回開催	市 市民団体	市街地整備景観課 ドックと浦賀の歴史を愛する会	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成16年度～事業実施</li> <li>■平成24年度 レンガドック活用イベント(4回)、 関連イベント(1回)開催</li> <li>■平成25年度 レンガドック活用イベント(4回)開催</li> <li>■平成26年度 レンガドック活用イベント(4回)開催</li> <li>■平成27年度 レンガドック活用イベント(4回)開催</li> <li>■平成28年度 レンガドック活用イベント(4回)開催</li> </ul>
継続	7月16日実施 参加者110人	市	港湾企画課	継続して実施	—
継続	当該地区での実績なし	市	生涯学習課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成24年度 当該地区での実績なし</li> <li>■平成25年度 猿島砲台跡追加調査</li> <li>■平成26年度 当該地区での実績なし</li> <li>■平成27年度 当該地区での実績なし</li> </ul>
継続	寄港実績 ・ばしふいっくびいなす:1回 ・おがさわら丸:5回	市	港湾企画課	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成9年度～ 事業実施</li> <li>■平成24年度 ・につぼん丸寄港(荒天のため中止) ・おがさわら丸寄港:2回</li> <li>■平成25年度 ・えとぴりか寄港:1回 ・おがさわら丸寄港:6回</li> <li>■平成26年度 ・おがさわら丸寄港:8回</li> <li>■平成27年度 ・おがさわら丸寄港:8回</li> </ul>

推進施策	具体的施策・取り組み	取り組み内容	
⑮東京湾の海の恵みを地産地消に活かしていこう	ア よこすか海の幸フェア	本市で水揚げされる水産物の地場ならではの食べ方を消費者に繰り返しアピールすることで、横須賀が豊富な魚介類の産地であり、かつ美味しく食べられる場所であることの定着化を図り、地産地消の推進、集客・定住の促進、地域経済の活性化を図る	
	イ よこすかさかな祭り《再掲》	地場の新鮮で安全な魚介類を直接消費者等に『見て・食べて・買って・遊んで・学んで』もらい、よこすかの海が持つ豊かな地域資源を来場者に身近に体験してもらう	
	ウ 走水のりフェスタ《再掲》	漁場を身近に感じてもらうと共に、地域ブランドの向上を図り、地産地消を推進するため、走水名産の新鮮な海苔やワカメなどを試食・販売	
⑯海を活かした産業を活性化しよう	ア 自動車運搬船等によるふ頭の利用の推進	港湾運送事業者が完成自動車の輸出を円滑に行うための港湾の運営	
	イ ポートセールスの実施	横須賀港久里浜地区に物流機能促進のため、航路誘致のため、船社、荷主などにポートセールスを実施	

状況	平成28年度	実施主体	所管課・団体名	今後の事業予定	平成27年度までの事業実績
	事業実績				
継続	<p>【4回実施】</p> <p>■第8回 4月～5月開催、参加店20店</p> <p>■第9回 6月～7月開催、参加店20店</p> <p>■第10回 9月～10月開催、参加店22店</p> <p>■第11回 2月開催、参加店22店</p>	市	農林水産課	<p>■平成29年度 継続して実施</p> <p>■平成30年度以降は未定</p>	<p>平成26年度～ 事業開始</p> <p>■平成26年度 2回実施</p> <p>■平成27年度 5回実施</p>
継続	<p>実施日:10月2日</p> <p>来場者数:約15,000人</p>	実行委員会	<p>よこすかさかな祭り実行委員会</p> <p>※市関係課は農林水産課</p>	継続して実施	<p>■平成25年度 実施日:10月6日、来場者数:約12,000人</p> <p>■平成26年度 実施日:10月5日、来場者数:約7,500人</p> <p>■平成27年度 実施日:10月4日、来場者数:約12,500人</p>
継続	<p>実施日:2月25日</p> <p>来場者数:約1,200人</p>	漁業協同組合	<p>横須賀市東部漁業協同組合 走水大津支所</p> <p>※市関係課は農林水産課</p>	<p>■平成29年度 継続して実施</p> <p>■平成30年度以降は未定</p>	<p>■平成25年度 実施日:2月22日、来場者数:約1,300人</p> <p>■平成26年度 実施日:2月28日、来場者数:約2,000人</p> <p>■平成27年度 実施日:2月27日、来場者数:約3,300人</p>
継続	<p>自動車運搬船の入港実績等</p> <p>入港隻数:50隻</p> <p>係留延日数:59日</p>	<p>市企業</p> <p>港湾運送事業者</p>	<p>港湾総務課</p> <p>(株)スバル</p> <p>相模運輸倉庫(株)</p>	継続して実施	<p>自動車運搬船の入港実績等</p> <p>■平成26年度 入港隻数:70隻、係留延日数:73日</p> <p>■平成27年度 入港隻数:40隻、係留延日数:58日</p>
継続	<p>・船社4社、荷主へのポートセールスを実施</p> <p>・日向市と定期航路誘致に向けた連携・協力の文書を取り交した</p>	市関係団体	<p>港湾企画課</p> <p>横須賀運輸港湾振興会</p>	継続して実施	<p>平成19年度、大分航路廃止によりポートセールスを開始し、平成24年度から、細島港(宮崎県日向市)と貨物船(RORO船)での定期航路誘致活動を実施</p> <p>■平成25年度 ・船社5社、荷主等へのポートセールスを実施</p> <p>■平成26年度 ・船社4社、荷主等へのポートセールスを実施</p> <p>■平成27年度 ・船社6社、荷主等へのポートセールスを実施</p> <p>・定期航路(久里浜港-細島港間)誘致のPR等のため、横須賀港久里浜地区のポートセミナーを実施</p>

## 2-4 重点施策の進捗状況

ここでは、3つの「重点施策」についての施策や取り組みの進捗状況と今後の進め方についてまとめています。(P.11)

### ■重点施策1

市民、市民団体、地域、学校などとの協働、あるいは、役割分担により事業を推進します。

#### 【施策の実施状況及び今後の進め方】

- ①自然観光資源（自然環境に係る観光資源）を守りながら、多くの人々が身近にふれあえるエコツアーをエコツアー実施団体とともに実施しています。これらのエコツアーの実施団体に対して、「横須賀エコツアーサポート協会」はガイド向けの研修を実施するなどの支援を実施しています。(P.17・18、23・24)
- ②東京湾口から撤去された第三海堡構造物は、平成22年に夏島都市公園内に移転展示され、地域のNPO団体が説明を行っています。(P.17・18、45・46)
- ③民間事業者と地元住民の主催で深浦ポートパーク内の岩場にて、「クサフグの産卵観察会」を実施しています。(P.19・20、27・28、31・32)
- ④「うみかぜ公園」を会場として、市民等が海の乗り物に体験乗船できる「横須賀うみかぜカーニバル」を公益財団法人などと実行委員会を組織して毎年度実施しています。(P.19・20、31・32、33・34)
- ⑤平成24年度に実施した「よこすか海の専門ガイド養成講座」の修了者により「よこすか海のガイドクラブ（現：よこすか海遊クラブに統合）」が平成25年7月に設立され、「海の観察会」などの活動を行っています。(P.19・20、27・28、31・32)
- ⑥民間事業者に委託し、「横須賀港内を船で巡る船上見学会」を実施しています。(P.21・22、47・48)
- ⑦市民（市民団体）・事業者や公益財団などさまざまな主体により、海浜や海上の清掃活動を実施しています。(P.37～40)
- ⑧民間事業者が実施している防衛施設等を海から見学する「YOKOSUKA 軍港めぐり」は、利用者が年間19万人を超える観光や海に関心を高める人気スポットとなっています。(P.47・48)

### ■重点施策2

人々が海に親しめるよう、浅海域の再生を進めます。

#### 【施策の実施状況及び今後の進め方】

- ①横須賀港における浅海域保全・再生については、「横須賀市環境基本計画（2011～2021）」のリーディング・プロジェクトとして位置付けていることから、関係部局との連携・調整を図りながら事業を推進します。

②平成 24 年度～平成 25 年度に設置した「横須賀港浅海域保全・再生研究会」において、整備の場所、整備や利活用の方法などについて研究・検討した結果、3つの整備候補地を選定しました。候補地の1つであった追浜地区において整備することとし、平成 26 年度には整備に向けての協定、平成 27 年度には基本的な整備内容についての協定を関係者・関係機関と締結するとともに、整備後の利活用や管理等に関する意見交換会及び地元説明会を実施しました。平成 28 年度は、整備内容の詳細及び整備後の利活用や管理等について、それぞれ関係者等と協議・調整を実施しました。

今後も引き続き整備内容の詳細を検討し、整備に着手するとともに、整備後の利活用や管理等について検討並びに関係者等との協議・調整を進めます。(P. 21・22、29・30、33～36、39・40、43・44)

### ■重点施策 3

港湾区域を中心とした地域の活性化に繋がる港湾整備を進めます。

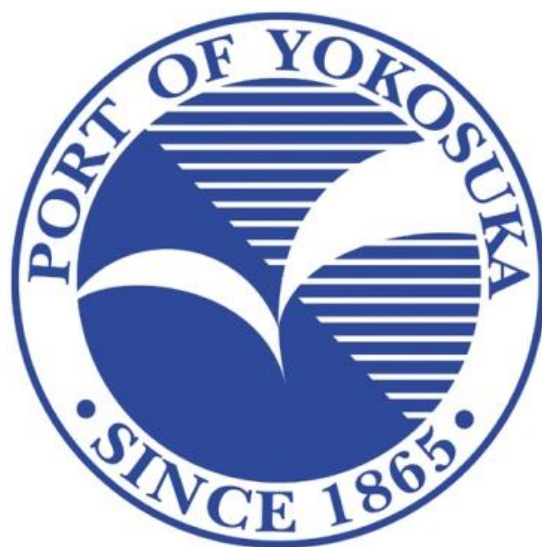
#### 【施策の実施状況及び今後の進め方】

①長浦地区においては、「横須賀港港湾計画」に位置付けている「港湾緑地の整備」について、土地境界及び土地所有者の確認や、土地所有者・土地等利用者との協議・調整を行うとともに、地元地域運営協議会との調整を進めています。

今後も引き続き地元地域運営協議会や土地所有者等との協議・調整を進めます。  
(P. 35・36)

②野比～津久井浜周辺においては、海岸浸食対策として、離岸堤の整備が継続して実施しています。(P. 35・36、43・44)

③大津地区においては、高潮対策事業として、護岸の整備を継続して実施しています。  
(P. 35・36)



横須賀港港湾環境計画  
平成 28 年度年次報告書（平成 29 年度版）  
平成 30 年（2018 年）3 月

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町 11 番地  
横須賀市港湾部港湾企画課

電 話：046-822-9802 F A X：046-826-3210

E-mail: pp-ph@city.yokosuka.kanagawa.jp